

第五十九回 帝國議會

地租法案外六件委員會議錄(速記)第十九回

付託議案

地租法案(政府提出)
營業稅收益稅法中改正法律案(政府提出)
明治四十一年法律第三十七號(政府提出)
大稅制四十一年法律第十四號(政府提出)
關稅法中改正法律案(政府提出)
關稅法中改正法律案(政府提出)
都市計畫法中改正法律案(政府提出)
地稅法中改正法律案(政府提出)
地稅法中改正法律案(政府提出)

會 議	八田宗吉君、石橋茂君及前田卯之助君	海軍少將 堀 梯吉君
昭和六年二月二十五日(水曜日)午前十時三十分開議	ヲ議長ニ於テ選定セリ	
出席委員左ノ如シ	同日委員前田卯之助君及八田宗吉君辭任ニ付其ノ補闕トシテ海老澤爲次郎君	
委員長 本田 恒之君	及藤井達也君ヲ議長ニ於テ選定セリ	
理事 西脇 晉君	出席國務大臣左ノ如シ	
理事 永田善三郎君	大藏大臣 井上準之助君	
理事 中村 繼男君	商工大臣 俵 孫一君	
理事 高橋熊次郎君	內務大臣 安達 謙藏君	
理事 清水 銀藏君	海軍大臣 男爵 安保 清種君	
出席政府委員左ノ如シ	本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ	
内務省地方局長 次田大三郎君	鐵道省經理局長 後藤 悅次君	
菊池 良一君	商工參興官 野田文一郎君	
辻本豊三郎君	海軍少將 吉野 信次君	
石橋 茂君	海軍少將 吉野 信次君	
松本 忠雄君	海軍少將 吉野 信次君	
本多眞喜雄君	海軍少將 吉野 信次君	
前田房之助君	海軍少將 吉野 信次君	
鏘木 忠正君	海軍少將 吉野 信次君	
一柳仲次郎君	海軍少將 吉野 信次君	
竹田 儀一君	海軍少將 吉野 信次君	
内田 信也君	海軍少將 吉野 信次君	
木暮武太夫君	海軍少將 吉野 信次君	
大口 喜六君	海軍少將 吉野 信次君	
武田徳三郎君	海軍少將 吉野 信次君	
八田 宗吉君	海軍少將 吉野 信次君	
岡田 忠彦君	海軍少將 吉野 信次君	
松谷與二郎君	海軍少將 吉野 信次君	
同日委員前田米藏君、戸部良祐君及海老澤爲次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ	○本田委員長 是ヨリ開會致シマス	

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)
織物消費稅法中改正法律案(政府提出)
明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出)
法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)
府提出)

大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)
都市計畫法中改正法律案(政府提出)

○本田委員長 私ハ審査ノ上ニ非常ニ差支ヘテ居リマスルノト、ソレカラ數字

何レモ重要ナル問題ト思ヒマスカラ、ソレヽ整理ヲ願^シテ、其結果ヲ付ケルヤウニ御督促アランコトヲ希望スルト共ニ、委員長ニ於カレマシテハ各大臣ノ列席ニ付テ極力御盡力アランコトノ希望ヲ此場合述ベテ置ク次第デアリマス、鐵道當局カラ鐵道運賃ニ關スル御答辯ガアルサウデアリマスカラ之ヲ承リマス

○加藤委員 私ガ先日御願致シテ置キマシタ織物ノ參考資料ヲ頂戴致シタイト思ヒマス

○青木政府委員 一部ハ差上グマシタガ、尙ホ一部ガ残^シテ居リマスカラ、ソレハ至急差上グマス

○高橋委員 商工大臣ガ御出デニナツタサウデアリマスカラ、商工大臣ニ對シテ過目保留シタル質問ヲ此場合致シタイト思ヒマス、商工大臣ニ先日御尋ヲ申上ゲタ事デ保留ニナツテ居ル部分ガアルト記憶致シテ居リマスガ、ソレ等ノ問題ニ對シテ御調ガ付イタラウト思ヒマスノデ、此場合御答辯ヲ願ヒタイ

○儀國務大臣 中小商工業者ノ負債ノ問題デアツタト思ヒマスガ、是ハ取調ベテ見マシタガ、商工省ニ其調査ガアリマセヌ、是ハ嘗テ試ミテ見タコトモアル由デアリマスガ、高橋君モ御察シノ

表致サヌノデアリマス、是ハ各、信用ニ
關係致シマスカラ中々容易ニ發表致シ
マセヌ、ソレカラ中小商工業者ト申シマ
スガ、中小商工業者ノ範圍ヲ何處ニ置
クカト云フ點ニ於テモ亦困難ガアリマ
ス、是ハドウモ其點ノ調査ハムヅカシ
イ問題デアリマシテ、商工省ニ於テ其
調査ヲシタモノガアリマセヌ

○高橋委員 中小商工業ト云フノハド
ノ點ヲ指スカト云フコトニ付テハ範圍
ガムヅカシイカラ、隨テ之ニ對スル負
債ノ調査モ致サヌト云フコトハ、或ハ
民間ニ於テナラバサウ云フコトハ申サ
レマセウ、所謂中產階級ト云フノハ何
處ヲ指スカト云フヤウナ、又無產階級
ト云フノハドンナモノヲ標準トスルカラ
ト云フヤウナコトニ對シテハ、ソレゾ
レノ論議ノアル所デアリマス、併ナガ
ラ大體ニ於テ中小商工業者ト云フノハ
ドノ點ヲ指スノデアルト云フヤウナコ
トハ、是ハ社會ノ常識ノ上カラソレゾ
レ判斷ヲ致シテ取扱フテ居ル問題デア
リマス、ソレノミナラズ既ニ政府ニ於
テハ、殊ニ商工省ニ於テハ、中小商工業
者ニ對シテ低利資金ヲ供給スルト云フ
ノデアリマスカラ、其場合ニ中小商工
業ト云フモノ、文字ヲ使ハレテ居ルノ
デアリマス、ソレデアリマスカラ、商工
省ニ於テハ中小商工業者ト云フモノ、
觀念ト云フモノハ、確立致シテ居ルト

吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、然ラ
商工業者ト云フ——資金融通ノ場合ニ
商工省ガ御用ヒニナツタ此中小商工業
者ト云フノハ如何ナルモノヲ指シテ居
ルノデアルカ、此場合御説明ヲ願ヒマ
セウ、ソレデアリマセヌト中小商工業
者ノ區別ガ一寸分ラナイ、範圍ガ分ラナ
イカラ、調査ヲシナイト云フコトガ大キ
ク響キマス、サウ云フコトデヤナイ、今
マデ面倒ダカラ、或ハ手續ガ煩瑣ダカ
ラヤラナイト云フナラバマダ理由ニモ
ナリマスケレドモ、中小商工業者ノ範
圍ガ不明デアルカラ調査ガ出來ナカッ
タト云フノデハ、少クトモ他ノ場合ニ
於テ中小商工業ト云フ文字ヲ使ツテ居
ラレルノデアリマスカラ、其時分ニハ
ドウ云フ觀念デ中小商工業ト云フモノ
ヲ御定メニナツタカ、其事ヲ承ツテ置キ
マス

ノ御尋デアリマスガ、是ハ場合ニ依リ
マシテ、資金ノ貸付等ニ付キマシテ、所
謂概念デ以テ行キマスガ、負債ヲ調べ
ルト云フコトニ付テハ範圍ヲ何ボト限
定致シマセヌケレバ、其調査ガ役ニ立
タヌト云フ場合モ有リ得ルノデアリマ
スカラ、ドウモ負債調査ノ上ニ中小商
工業者ト云フコトハ如何ナル範圍デア
ルカト云フコトハ、餘程困難ナ問題デ
アルト同時ニ、其調査ハシニクイト云
フコトヲ申上ゲタノデアリマス、而シ
テ改メテ中小商工業ノ範圍如何、是ハ
餘程困難ノ問題トシテ一概ニ簡単ニ申
上ゲニクイノデアリマス

○儀國務大臣 ソレハ今申上ゲタ積リ
デスガ、詰リ大體サウ云フ風ナ場合ニ
於ケル所ノ金融ノ要求ニ對スル貸付ニ
付テハ、大體ノ見當ヲ以テ行クホカナ
イノデス、ソレガハッキリ何處マデノ納
稅額——例ヘバ營業收益稅ヲドレ程納
メテ居ル者ト云ッタ如キコトニハ定メ
ニクイノデ、金融ノ要求ニ付テハ、サウ
云フコトヲハッキリ致シマセヌデモ、其
事務ヲ執ルニ付テハ差支ナイノデアリ
マス

ガ來タナラバ、御前ノ方デ勝手ニ考ヘ
テヤレト云フヤウナ譯ニハ行キマセヌ、
目安ト云フモノヲ付ケナケレバナラヌ、
サウスレバ低利資金ヲ貸付ケル時ノ由
小商工業者ト云フモノト、一般負債ヲ
調査スル時ノ中小商工業者ト云フモノ
トハ、何等甲乙ガナカラウトスウ云フ
工合ニ考ヘマスガ、ソレニ付テハドウ
デスカ

○儀國務大臣 ソレハ今申上グタ通リ
ニ、中々中小商工業者ト申シテモ、數字
デハツキリ定メル譯合ニ行キマセヌ、而
シテ今申シマス通リニ金ヲ借リタイト
云フ金融ノ問題ニ付テハ、サウ云フ事
ヲハツキリ致サヌデモ濟ンデ行ク、唯ア
ナタノ御要求ノ負債調査ハ、是ガ範圍
ヲスツカリ決メマセヌケレバムヅカシ
イ問題デアリマス、全體ノ商工業者ト
云フコトナラバ範圍ハキマリマス、由
小ト云フコトニ付テハ、其負債ノ調
範圍ガ達ツテ來ルナラバ何ニモナラヌ
數字ニナツテ來マス、ソレ故ニ負債ノ調
査ノ如キハスツカリ範圍ヲ定メマセヌ
ケレバ、其結果ハ餘り参考ニナリマセ
ヌコトニナツテ來ル、ソレトモウ一ツハ
アナタノ御要求ノ負債ト云フ問題ニ付
キマシテハ、中々調査ガシニクイ、此二
ツノ理由デス

○高橋委員 此問題ニ付テ押問答ヲシ
テ居リマシテハ時間ヲ喰ヒマスガ、甚

業ヲ監督サレテ居ル所ノ、又指導サレ
テ居ル所ノ長官ノ御言葉トシテハ非常
ニ不満デアリマス、今日商工業者ガ負債
ハ想像以上デアリマス、此場合ニ範圍
ヲ定メナクテモ、大擱ミテ以テ金融ノ
方ニハ差支ナイチド、云フ考デアルカ
ラ、二千萬圓デ澤山ダト云フ御答辯モ
出来ルノデセウ、ソンナ事デハ九牛ノ
一毛、大海ノ水ヲ小貝デ以テ搔取ルト
云フコトニシカ當ラヌノデアリマス、
ソレデアルカラ私ハ斯ウ云フ問題ハ、
ハツキリ致シテ置カナイトイカヌト思
フ、ソレハ何ニモナラナイト仰セニナ
ルケレドモ、商工省デ御定メニナツテ、
是レ以下ヲ中商工業者ト看做ス、是ヨ
リ以下ハ小商工業者ト看做スト、ソレ
ノ區別ヲ致シテ、御調査ヲ致スナラ
バ、其範圍ガ小サイトカ大キ過ギルト
カ云フヤウナコトハ問題ニナリマセ
ヌ、ソレデアルカラサウ云フ方面ニ於
テハ大體ニ於テ學者ノ間ニモ、ソレゾ
レノ標準ヲ定メテ論議ヲ致シテ居ルノ
デアリマシテ、中小商工業者ノ觀念ト
云フモノハ、サウボンヤリ致シテ居ラ
ナイ筈ダト吾々ハ考ヘテ居リマス、社
會學ニ於テモ中產階級ト云フモノハド
ウ云フモノデアルカト云フ、大體ノ觀
念ダケハ定マツテ居ルト私ハ考ヘテ居

リマスカラ、斯ウ云フ事ハ左程大キナ
問題デハナカラウト思フノデアリマ
ス、其問題ハ今日ハ時間ガアリマセヌ
カラ、其程度ニ止メテ宜シウゴザイマス
ガ、調ベルニハ隠スカラ調ベラレナイ、
借金ヲ明ルミニ出ス者ハ餘程大膽ナ者
デナケレバ出來ナイノデアリマス、農
業者ノ借金モサウデアリマス、是ハ單
リ商工業者ニ限ツタ譯デハアリマセヌ、
ソレデアルカラ色々手ヲ代ヘ品ヲ替ヘ
テ調査ニ當ルノデアリマス、私ハ調べ
ラレナイモノヲ調ベロトハ申上ゲナイ
ノデアリマス、銀行ノ貸付、或ハ無盡會
社ノ貸付、或ハ無盡業者ノ貸付、或ハ市
街地ニ於ケル信用組合ノ貸付、農村ニ
於ケル信用組合ノ貸付、斯ウ云フモノ
カラシテ、ソレハ、材料ハ拾上グラレ
ルト思フノデアリマス、民間ニ於テハ
既ニ是等ノ數字ヲ拾上ゲテ、今日デハ
中小商工業者ト云フ者ノ負債ハ、三十
億ヲ下ルマイト云フ見當ヲ付ケテ、ソ
レハノ方策ヲ立て、居ルノデアリマ
ス、ソレデアルカラ私共ハハッキリシタ
事ハ無論分ラナイカラ大要デ宜シイ、
是ヨリモウ下ラナイト云フヤウナ大體
ノ數字ダケデモ御示ニナフテ、之ニ付テ
斯ウ云フ対策ヲ講ズルト云フヤウナコ
トニ相成ラナケレバナラヌダラウト思
フ、目標ガナクテ、サウシテ盲目滅法ニ
進ンデモ何ニモナラナイト云フコトニ

相成ルノデアリマス、三十億圓ノ借金ヲ
背負フ所ノ中小商工業者ニ關スル利子
ハ又非常ニ高イ、農業者ニ關スル利子
ヨリハ安カラウガ、相當ニ高イカラシ
テ、此利子ハ年一割ノ利子ヲ拂フトシ
テモ、年ニハ負債ヲ三十億圓ノ最低ト
致シマシテモ、三億圓ノ利子ヲ負擔シ
ナケレバナラヌ、殊ニ金融難ニ陥ッタ今
日ニハ、借換ノ時期ガ勿論來テ居ルノ
デアリマスガ、之ヲ如何ニシテ借換ヲ
スルカ、借換モ出來ヌケレバ、利子ヲ納
メルコトモ出來ナカツタナラバ、期限ノ
如何ニ拘ラズ元本ヲ請求サレ、強制執
行ヲサレルト云フコトハ、今日ノ中小
商工業者ノ大ナル惱デアルノデアリマ
ス、之ヲ一日モ早ク救濟ヲシナケレバ中
小商工業者ハ立行カヌト云フコトニナ
ル、ソレデアルカラ吾々ハ産業ノ保全
ノ上カラ、色々ノ事ヲ考慮スルト同時
ニ、中小商工業者ノ大部分ト云フモノ
ハ納稅者ニナツテ居リマス、營業收益稅
ハ彼等ニ課ス稅デアリ、地方營業稅ハ
其人達ノ取得シテ居ル所ノ富ノ一部ヲ
政府ガ無償デ取上ゲルノデアリマス、
ソレデアリマスカラ一面カラ云ヘバ借
金ヲシタ者ノ金ヲ取上ゲル、借金ニ拂
フベキ利息ノ一部分、或ハ全部ヲ取上
ゲルト云フコトニ今日ハ相成ルノデア

リマス、ソレデアリマスカラ私共ハ此
中小商工業者ノ現在竝ニ直グ來ル將來
ノ危機ニ付テハ、相當ニ考慮ヲ費サナ
ケレバナラナイ、斯様ニ考ヘマスガ故
ニ、商工大臣ハ如何ナル考ヲ以テ中小商
工業者ノ危機ニ頻シテ居ル場合ニ臨ン
デ居ラレルカト云フコトヲ承ブテ、然ル
上ニ於テ私ハ大藏當局ノ財務當局トシ
テノ之ニ對スル御考慮ヲ伺ヒタイ、斯
ウ云フ前提ノ下ニ先づ所管大臣タル商
工大臣ノ御意見ヲ拜聽致シテ居ルノデ
アリマスカラ、之ニ對シテ十分ナル御
答辯ヲ戴キタイト思フノデアリマス
○**儀國務大臣** 中小商工業者ノ負債ノ
調査ニ付キマシテハ、一應申上ゲタ事
ヲ以テハ御不満足ノヤウデアリマス
ケレドモ、先づソレデ以テ御諒承願ツテ
置キタインデアリマス、中小商工業者
ノ目下ノ困難ナ状態ニ對スル對策、是
ハ昨日モアナタノ御質問ニ對シテ申上
ゲテ置イタト思ヒマス、目下ノ事情ハ
餘程困難デアル、是ハドウ致シマシテ
モ、例ヘバ工業者ニ付キマシテハ工業
組合ノ法律ノ改正ヲ提案致ス積リデ居
デ居ル點ニ付キマシテハ、當業者間ニ
リマスガ、現在ノ如キ状態ニ於キマシ
テハ、工業者、殊ニ中小工業者ガ行惱ン
デ居ル點ニ付キマシテハ、當業者間ニ
於テ共同施設、共同作業ノ働デ以テ、出
來ルダケ生産費ヲ下グルト云フ工夫ヲ
セナケレバナラヌ、從來ノ重要輸出品

同業組合ト云フモノハ、輸出品ニ對シ
其見地ヨリ組合法ヲ作ツテ現在モ實行
シテ居リマスガ、是デモマダ範圍ガ狹
イ、此度ハ一般ニ廣ク中小商工業者ニ對
スル組合ヲ實行セシムルコトニ致シ、
之ヲシテ尙ホ一層ノ經濟的施設、或ハ
金ヲ借リルトカ、原料品ヲ共同購入ス
ル作業ニ便宜ヲ與ヘルトカ、生産品ヲ
共同販賣セシムルノニ便宜ヲ與ヘルト
カ、斯ウ云々タヤウニ、組合ノ力ニ依ツテ
經濟的ノ共同施設ヲシテ、彼等業者ノ
生産費ヲ出來ルダケ低減ヲシテ、彼等
ノ仕事ヲ救濟スルト云フコトニ向ツテ
考案ヲ立テ、進ミツ、アルノデアリマ
ス、中小商工業者ニハ幾多困難ナ問題
ガアリマス、或ハ大ナル力ヲ以テ壓迫
セラレルガ如キ現狀、或ハ金融ニ非常
ニ困ツテ居ル現狀、之ヲ何トカシナケレ
バイカヌノデアリマス、大ナル「デバー
トメント、ストーア」ノ如キモノガ、中
小商工業者ヲ壓迫スルコトニ付テハ、
昨日モ應答申上ゲタノデアリマス、金
融ニ付キマシテモ、ハヤリ是ハドウモ
現在デハ到底行カヌカラ、成程仰セノ
如ク中小商工業者ノ負債ハ幾ラト云フ
高ニ付テノ調ハ出來テ居リマセヌガ、
併ナガラ金融ニ詰ツテ居ルコトハ事實デ
アリマス、假令高ハドウアリマセウト
モ非常ニ困ツテ居ル、何レ是ハ現狀ヲ打
開スル方法ヲ講ジナケレバナラヌ、之

ニ付キマシテハ昨日モ申上ゲマシタ
ガ、現状デハ到底イケナイ、現在ノ金融
設備デハイケマセヌ、之ニ對シテハ改
廢ヲスル、改善ヲスル、是ハ財務當局
ト、即チ大藏當局ト相談致シマシテ、ソ
レ、此度法律ノ改正ナリ、法律以外
ノ事ニ付テモ大藏當局ト相談ヲシテ、
出來ルダケ金融ノ途ヲ付ケテヤル、斯
ウ云フコトヲ以テ現状ヲ救フ、斯ウ云
フコトニ致シテ居ルノデアリマス
○高橋委員 今縷々御述ベ下サッタコ
トニ付テハ諒承致シマシタ、併ナガラ
ソレハ昨日モ申上ゲタ通り、到底此疲
弊困憊ノドン底ニ沈淪致シテ居ル所ノ
中小商工業者ヲ救フニ足ルモノデナ
イ、ソレバカリデナイ、左様ナモノヲ自
發的ニドウシヨウスウシヨウト云フヤ
ウナコトハ、到底此場合望ミ得ラレナ
イ事デアル、左様ナ事ヲ以テ臨マレル
ト云フコトハ迂遠モ亦甚ダシイモノデ
アツテ、差迫ヅタ、期限ノ到來シテ居ル借
金カラノ苦ミヲ抜クト云フコトガ、此
際必要デハアルマイカ、斯ウ云フコト
ヲ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此
委員會ニ於テ大藏當局ニ向クテ申述べ
タ所デアリマスガ、既ニ滯納處分ノ爲
ニ、今マデ同ジ營業者同志デアルカラ、
其間ノ貸借ハヤハリ大目ニ見テ居ヅタ、
苦シイ中モ我慢ヲシテ居ヅテ、無理ナ催
促ノ方法、或ハ處分ノ方法等モ差控ヘ

テ居ツタノヲ、國稅滯納處分ノ結果強制執行ヲヤラレタ、已ムヲ得ズソレニ參加ヲ致シテ、サウシテ其店ヲ破産ノ窮地ニ陥レタト云フ例ガ頻々トアルノデアリマス、斯ウ云フ場合デアルカラ、商工業者ノ基礎ヲ確立スルト云フコトガ先づ第一デアル、之ニ相當ノ御考慮ガアルベキ筈ダト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、今マデ御伺シタ所デハ二千萬圓ノ資金ヲ出シタト云フ以外ニハ、組合ヲ以テドウスルト云フヤウナ、將來ノ計畫ニ屬スルト云フ事以外ニハ、何等是等ニ觸ル、所ノ政策ノ御持合セガナイト云フコトニ諒承ヲ致シマシタ、洵ニ私共ハ中小商工業者ニ對シテ心細ノハ、世間ヲ騒ガシテ居ル問題ノ一つ憂ヲ深ク致シテ居ル次第デアリマス、昨日モウ一つ問題ニナツテ居リマシタデアル所ノ、大百貨商店ト獨立小賣商店トノ間ノ負擔ノ不均衡ト云フコトニ付テ問題ニナツテ居ツタノデアリマスガ、商工大臣ノ方デハ、却テ小サナ獨立商人ノ商店ノ方ガ負擔ハ輕イト云フコトヲ仰セニナツタ、ソレハ惟フニ稅ノ負擔ノ事ニアラズシテ、營業費ノ事デアルト云フヤウナコトニモ承ツテ、其處ハ明白デナカツタノデアリマス、ソレデ新聞記事ノ見出ヲ讀ミマシテ、之ニ對シテ御研究ヲ願フコトニナツテ居ツタノデ

アリマスガ、其御研究ハドウナツテ居リマスカ、ソレデ商工省ノ態度ハドウ云フコトニナツタカ、簡単デ宜シウゴザイマスカラ結論ダケヲ此場合御答辯ニ與リタイト思ヒマス

○俵國務大臣 昨日ノアナタノ仰セノ日本新聞アル記事ハ、マダ實ハ讀ンデ居リマセヌ、尙ホ讀ミマシテ、其上御答辯申上ゲルコトニ致シマス

○高橋委員 此場合大藏省ノ青木政府委員カラデモ宜シウゴザイマスガ、私ハ中小商工業者ト申シマスルト語弊ガアリマスガ、今獨立ノ小商店ヨリハ、ナル百貨店ト云フモノガ非常ナル負擔ニ於テ輕重ガアル、輕イ、斯様ニ考ヘテ居リマスルガ、之ニ對シテ大藏省ハドウ云フ見地デ居ラレルカ、其ノ點ヲ承リタイ

○青木政府委員 法人ノ「デパートメント・ストア」等ト、小商業者ヲ比較致シマシテ、國稅ノ負擔ガ寧ロ大商業家、「デパートメント・ストア」ノヤウナモノガ、比較的輕イ國稅ノ負擔ヲシテ居ルモノデハナイカト云フコトハ、從來屢々各方面カラ御意見ヲ伺ッテ居ル所デアリマス、隨テ此度ノ減稅案ヲ立てるマスニ付キマシテモ、先日申上ゲマシタヤウニ、法人ノ營業收益稅ヲ三・八五ヲ三・六ニ致シ、個人ノ營業收益稅ノ二・八ヲ二・六ニ致シマシテ、其金額、其

率ハ何レモ百分ノ〇・二・六デアリマスルガ、一方ハ三・六、一方ハ二・六デアリマスルカラ、割合ヲ申シマスルト、一方ハ五分五厘、一方ハ七分ト云フヤウニ、個人ノ收益稅ヲ多ク輕減致シマシタ譯デアリマス、尙ホ又營業純益一千圓以下ノ所ハ本當ノ中小商工業者デアリマスルカラ、之ニ付テハ稅率ヲ百分ノ二・一ニ致シマシテ、二割餘リノ輕減ヲ致シタト云フヤウナ譯デアリマシテ、從來國稅營業收益稅ノ負擔ニ付キマシテハ個人ノ方ガ比較的法人ヨリモ重イ負擔ヲシテ居ツタヤウニ考ヘマシタノデ、此度只今申上ゲマシタヤウナ減稅案ヲ立テタ次第デアリマス、是デ十分デアルカ、是デ本當ノ權衡ヲ得タカドウカト云フコトニ付キマシテハ、或ハ高橋サント私共ト此點ニ付テ意見ヲ異ニシテタルカモ知レマセヌガ、是デ權衡ヲ得タレスカラ、法人ノ方ノ負擔ヨリ、營業收稅ニ付キマシテハ比較的個人ノ方ガ重カツタヤウニ思ッテ居ルノデアリマス

時代ニ小賣商人ハ非常ニ騒イデ居リマスカラ、他日是ハ問題ニナルダラウト思ヒマスノデ、吾々ハ豫メ此點ニ觸レテ論議シテ置ク必要ガアリ、又はハソレノ税制ノ上ニ響クコトデアラウト思ヒマスルカラ、此場合申上ゲルノデアリマスルガ、政府ノ收稅結果ニ依リマスルト云フト斯ウ云フコトニナッテ居ル、百貨店ノ方面デハ平均賣上高ノ百分ノ三ヲ純益ト見ラレテ査定サレテ居ルノデアル、之ニ對シテ個人商店ハ其ノ賣上高ノ百分ノ十五以上ノ純益ト、斯ウ見テ居ラレル、ソレデ例ヘバ三越ハ百分ノ四、白木屋ハ百分ノ二、デアリ、松屋ハ百分ノ二・五、斯ウ云フヤウニ實績ハナツテ居ル、ソレデ例ヘバ今此東京ノ稅務監督局ニ於テ、所得ノ標準トシテ昭和五年度ニ御用ヒニナツタモノハ、小賣商店ノ所得ハドウ云フ率ニナツテ居ルカト云フト、草花商ガ百圓ニ對シテ二十五圓、菓子類ガ二十圓、小間物ハ十五圓、洋紙ガ十五圓、蕎麥屋ガ二十圓、荒物ガ十五圓、瓦斯電氣機械ガ十五圓、「シャツ」類ガ十四圓デアル、百貨店ニ於テ最モ多ク賣買サレテ居ル吳服太物ハ、小賣店ハ八圓五十錢、斯ウ云フ純益ニナツテ居ルノデアリマス、幾ラ率ガ個人ト法人ト差等ガアリマシテモ、課稅ノ基準トナルベキ純益ノ數字ニ斯ノ

ニ於テ非常ナル重イモノガアルト云フ
コトハ争フコトノ出来ナイモノト吾々
ハ考ヘルノデアリマス、之ニ對シテド
ウ云フ御意見デアリマスカ
○青木政府委員 只今御述ニナリマシ
タノハ、東京稅務監督局ノ、多分昭和
五年ノ所得標準率ヲ御引用ニナッタコ
ト、思ヒマスガ、是ハ第三種所得稅ノ
所得標準率デゴザイマシテ、百貨店ハ
御承知ノヤウニ 法人組織ニナッテ居リ
マシテ、サウシテ營業年度終了後十四
日以内ニ、其法人ノ決算ヲ稅務署ニ提
出致シマシテ、其決算書類ニ依ツテ、稅
務署ハ第一種所得稅若クハ法人ノ營業
收益稅ヲ決定致スノデゴザイマスカラハ
只今御引用ニナリマシタノハ、是ハ第
三種所得稅、詰リ個人ノ所得稅若クハ
營業收益稅ダケノ問題デアリマシテ、
法人ニハ適用ノナイ標準率デアリマス
○高橋委員 ソンナコトヲ承ッテモ何
等私ノ質問ノ御答辯ニナラヌノデアリマ
シテ、青木局長ノ銳敏ナル頭デ、ソンナ
答辯デ以テ満足サレルト云フコトハ甚
ダ不思議ナノデアリマスガ、連日ノ御疲
レガアラウカラ別ニ御責メハ致シマセ
ヌガ、私ハソンナコトヲ言ツテ居ルノデ
ハナイ、第三種所得ノ標準表デアル、サ
ウ云フモノデ以テ法人ヲ律スルト云フ
馬鹿ナコトハ、幾ラ何デ モソンナコト
ハ考ヘマセヌ、併ナガラ此「デバー」トメ

ント・ストーア」ニ於ケル所ノ利益ト云
フモノカラ、其利益率ト云フモノハ直
ニ算定サレル、是ノ課稅率ト云フモノ、
其賣上ト云フモノカラ比較致シマスト
云フト、直グ考課狀ニ行ツテモ割出シ得
ルノデアリマス、其率ガ百ノモノデア
ルナラバ三ト云フノガ平均ニナッテ居
ル、三越ガ四デアリ、白木ガ二、松屋ガ
二・五デアル、然ルニ小賣商店ト云フモ
ノガ約百分ノ十五以上ノ利益アリトシ
テ課稅ヲサレテ居ルノデアル、ソレデ
アリマスカラ、ソレハ此表デ以テ直ニ
兩者ヲ比較シタノデハナイト此表ニ
依ツテ小賣商店ノ純益ノ率ヲ第三種所
得ノ標準表デハ私ガ今讀ミ上ゲタヤウ
ナ大體ノ數字デアル、是等ノ「デパー
トメント・ストーア」ノ考課狀ニ依ツテ直
ニ賣上金額ニ對スル課稅額ト云フモノ
ハ算定ガ出來ルノデアル、ソレトノ比
較ヲスルト云フコトハ、何等誤ツタ比較
ノ方法デハナカラウト思フ、負擔ノ輕
重モ之ニ依テ測リ得ラレルデアラウト
思フ、是ダケノ三ト十五ノ距ガアル、
三ト十五ト言ヘバ、片方ハ五倍、其五倍
ノ距ガアルノデアルカラ、僅カノ法人
ト個人トノ間ノ稅率ノ差等位デハ、此
五倍ノ差ト云フモノハ埋合セルコトハ
到底出來ヌト吾々ハ考ヘルノデアリマ
スガ、之ニ付テ御答辯ヲ煩シタイ

貨店ニ於キマシテハ、申上ゲルマデモナク種々ナル品物ヲ賣シテ居ルノニアリマスガ、決算報告書ニ於キマシテハ、其收支計算書ハ出テ居リマスケレドモ、如何ナル品物ヲ幾ラ賣シタカト云フコトハ、勿論決算報告ノ上ニハ表ハレテ居リマセヌ、例ヘバ株式會社三越ト云フモノガ吳服ヲ賣リマスガ、其吳服ダケニ付テドレダケノ収益ヲ舉ゲテ居ルカト云フコトハ、稅務署デモ取調ハ致シテ居リマセヌガ、只今御計算ヲ伺ヒマシタガ、百分ノ三ニナッテ、一方ガ百分ノ十五デ、非常ナ相違デアル、是ハ百貨店ト云フモノ、性質カラ考ヘマシテ、個人ノ營業ヨリモ利益率ガ少イト云フコトモアラウカト思ヒマスガ、併シソレガ果シテ幾ラノ利益率ニナツテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、私共ノ方デ正確ナル計算ヲ取テ居リマセヌ、併シ只今仰セニナリマスコトハ、御尤ノ點モアルト思ヒマスカラ、私共ノ方デ今御話ニナリマシタ三越、白木、松屋等ニ就キマシテ、之ヲ個人ト比較スレバドレ位ノ利益率ニナツテ居ルカト云フコトヲ取調ベマシテ、サウシテソレガ非常ニ個人ト權衡ヲ得テ居ラヌ、言換ヘレバ個人ノ此所得標準率ノ方が非常ニ高過テ居ル、不得標準率ノ方ガ非常ニ高過テ居ル、不權衡デアルト云フヤウナ確信ヲ得マシタ場合ニ於キマシテハ、此所得標準率

ト云フモノハ、昨日モ申上ゲマシタヤ
ウニ、年ニ依ツテ、是ハ昨年ト同ジヤウ
ニヤレバ非常ニ妥當デナイト云フ時ニ
ハ、昨年ヨリモ低クスルト云フコトガ
アルノデアリマスカラ、此點ハ個人商
業ノ負擔ガ非常ニ多過ギルト云フ點カ
ラ御立論ニナツテ居ルカト思ヒマスカラ、
此個人ノ所得標準率ニ付キマシテハ、尙
ホ一層ノ研究調査ヲ致シタイト思ヒマス
○高橋委員 研究調査ヲサレルト云フ
コトヲ承リマシタガ、私ノ申上ゲタ所
デ、ハッキリシナイ所ガアルヤウデアリ
マスカラ申上グマスガ、私共比較致シ
マシタノハ三越、松屋竝ニ白木ノ此三
「デバートメント・ストア」ト竝ニ東京
税務監督局管内ニ於ケル所ノ三十四ノ
業者、ソレノ課稅ノ標準ヲ集計致シマ
シテ、此步割ヲ割ツタ結果ハ一五・九ニナ
ルノデス、約十六近クニナルノデス、ソ
レデ今度ノ改正ノ稅率ハ多少違ヒマ
スガ、今マデノ稅率ニ比較致シマシテ
モ、ソレハ約四倍ニナル、個人ノ方ガ低
イカラシテ、ソレガ一倍ダケ減リマシ
テ四倍ニナル、斯ウ云フ過重ナル負擔
ヲ受ケテ居ル、小商人ガ斯様ナ過重ナ
ル負擔ヲ受ケテ居ルト云フコトハ、少
クモ大商店大百貨店ト云フモノハ、ソ
レダケ輕イ負擔ヲ受ケテ居ルト云フコ
トガ、或ル意味カラ、強イ意味デ言ヘ
バ、是ダケガ逋脱ヲシテ居ル、脱稅ヲシ

テ居ルトモ言ヘルノデアリマス、即チ
ニヤレバ非常ニ妥當デナイト云フ時ニ
ハ、昨年ヨリモ低クスルト云フコトガ
アルノデアリマスカラ、此點ハ個人商
業ノ負擔ガ非常ニ多過ギルト云フ點カ
ラ御立論ニナツテ居ルカト思ヒマスカラ、
此個人ノ所得標準率ニ付キマシテハ、尙
ホ一層ノ研究調査ヲ致シタイト思ヒマス
○高橋委員 研究調査ヲサレルト云フ
コトヲ承リマシタガ、私ノ申上ゲタ所
デ、ハッキリシナイ所ガアルヤウデアリ
マスカラ申上グマスガ、私共比較致シ
マシタノハ三越、松屋竝ニ白木ノ此三
「デバートメント・ストア」ト竝ニ東京
税務監督局管内ニ於ケル所ノ三十四ノ
業者、ソレノ課稅ノ標準ヲ集計致シマ
シテ、此步割ヲ割ツタ結果ハ一五・九ニナ
ルノデス、約十六近クニナルノデス、ソ
レデ今度ノ改正ノ稅率ハ多少違ヒマ
スガ、今マデノ稅率ニ比較致シマシテ
モ、ソレハ約四倍ニナル、個人ノ方ガ低
イカラシテ、ソレガ一倍ダケ減リマシ
テ四倍ニナル、斯ウ云フ過重ナル負擔
ヲ受ケテ居ル、小商人ガ斯様ナ過重ナ
ル負擔ヲ受ケテ居ルト云フコトハ、少
クモ大商店大百貨店ト云フモノハ、ソ
レダケ輕イ負擔ヲ受ケテ居ルト云フコ
トガ、或ル意味カラ、強イ意味デ言ヘ
バ、是ダケガ逋脱ヲシテ居ル、脱稅ヲシ

云フ理窟ハ此處カラ出テ來ルカラ、是
ハ非常ニ明カナ大問題デアリマス、ソ
レデアルカラ吾々ガ審議ヲ致シテ居リ
マス營業収益稅ト云フモノモ、元ノ營
業稅ト何等弊害ノ點ニ於テハ變リハナ
イモノデアル、或點ニ於テハ純益ト云
フヤウナモノ、裏ニ隱レテ、却テ苛斂
誅求ヲサレテ居ルト云フヤウナ事實ガ
アルト、斯ウ云フコトヲ私共ハ考ヘテ
居ル、デ加藤君ガ其點ニ觸レラレタヤ
ニナリマシタヤウニ、税務官吏ガ、營業
收益實施後四百圓以下ハ免稅ニナルヤウ
ニナリマシテ後ニ、營業者ノ店舗ニ臨
シナリマシテアリマス、オ前ハ一箇年
ニ四十圓位ノ純益ガナケレバ、到底此
店ハ立行カヌ筈デアル、即チ年ニハ四
百八十圓ニナツテ營業収益稅ヲ納ムベ
キモノデアルト云フタヤウナ話ハ、豫々
方々カラ伺ツテ居ルノデアリマス、是ハ
ハ、ソレヲ是認シナイト云フヤウナコ
トヲ致シマシテ、逋稅脱稅ハ出來得ル
ハ、尚ホ將來十分此點ニ付テハ、百貨
店ノ脱稅逋稅ヲ取締ルト云フコトニ付
テハ十分ノ努力ヲ致ス考デアリマス
○高橋委員 私ハ脱稅ト云フコトヲ

テ居ルトモ言ヘルノデアリマス、私共ハ此稅法モ相
當ニ改正ノ餘地ガアルト思フ、ソレデ
アリマスカラ、今日少シバカリノ稅ノ
差等ヲ付ケラレテモ、是デハ到底負擔
テ居ル、逋稅ヲ致シテ居ルト云フコトヲ
云フ理窟ハ此處カラ出テ來ルカラ、是
ハ非常ニ明カナ大問題デアリマス、ソ
レデアルカラ吾々ガ審議ヲ致シテ居リ
マス營業収益稅ト云フモノモ、元ノ營
業稅ト何等弊害ノ點ニ於テハ變リハナ
イモノデアル、或點ニ於テハ純益ト云
フヤウナモノ、裏ニ隱レテ、却テ苛斂
誅求ヲサレテ居ルト云フヤウナ事實ガ
アルト、斯ウ云フコトヲ私共ハ考ヘテ
居ル、デ加藤君ガ其點ニ觸レラレタヤ
ニナリマシタヤウニ、税務官吏ガ、營業
收益實施後四百圓以下ハ免稅ニナルヤウ
ニナリマシテ後ニ、營業者ノ店舗ニ臨
シナリマシテアリマス、オ前ハ一箇年
ニ四十圓位ノ純益ガナケレバ、到底此
店ハ立行カヌ筈デアル、即チ年ニハ四
百八十圓ニナツテ營業収益稅ヲ納ムベ
キモノデアルト云フタヤウナ話ハ、豫々
方々カラ伺ツテ居ルノデアリマス、是ハ
ハ、ソレヲ是認シナイト云フヤウナコ
トヲ致シマシテ、逋稅脱稅ハ出來得ル
ハ、尚ホ將來十分此點ニ付テハ、百貨
店ノ脱稅逋稅ヲ取締ルト云フコトニ付
テハ十分ノ努力ヲ致ス考デアリマス
○高橋委員 私ハ脱稅ト云フコトヲ

ナルノデアリマス、私共ハ此稅法モ相
當ニ改正ノ餘地ガアルト思フ、ソレデ
アリマスカラ、今日少シバカリノ稅ノ
差等ヲ付ケラレテモ、是デハ到底負擔
テ居ル、逋稅ヲ致シテ居ルト云フコトヲ
云フ理窟ハ此處カラ出テ來ルカラ、是
ハ非常ニ明カナ大問題デアリマス、ソ
レデアルカラ吾々ガ審議ヲ致シテ居リ
マス營業収益稅ト云フモノモ、元ノ營
業稅ト何等弊害ノ點ニ於テハ變リハナ
イモノデアル、或點ニ於テハ純益ト云
フヤウナモノ、裏ニ隱レテ、却テ苛斂
誅求ヲサレテ居ルト云フヤウナ事實ガ
アルト、斯ウ云フコトヲ私共ハ考ヘテ
居ル、デ加藤君ガ其點ニ觸レラレタヤ
ニナリマシタヤウニ、税務官吏ガ、營業
收益實施後四百圓以下ハ免稅ニナルヤウ
ニナリマシテ後ニ、營業者ノ店舗ニ臨
シナリマシテアリマス、オ前ハ一箇年
ニ四十圓位ノ純益ガナケレバ、到底此
店ハ立行カヌ筈デアル、即チ年ニハ四
百八十圓ニナツテ營業収益稅ヲ納ムベ
キモノデアルト云フタヤウナ話ハ、豫々
方々カラ伺ツテ居ルノデアリマス、是ハ
ハ、ソレヲ是認シナイト云フヤウナコ
トヲ致シマシテ、逋稅脱稅ハ出來得ル
ハ、尚ホ將來十分此點ニ付テハ、百貨
店ノ脱稅逋稅ヲ取締ルト云フコトニ付
テハ十分ノ努力ヲ致ス考デアリマス
○高橋委員 私ハ脱稅ト云フコトヲ

課税ト云フモノハ不公平デアル、公正ヲ失シテ居ル、ソレデアルカラ或ル意味デ、此頃ヤカマシク云ハレテ居ルト云フヤウナコトニモ考ヘル、國家ガ之ヲヤツテ居ルノダ、默認シテ居ルト云フコトニモナル、ソレデアリマスカラスウ云フ不公正ヲ避ケルノニハ、稅制ノ改革ヲヤツテ行カナケレバナラヌ、負擔ノ公正ヲ圖ルニハ、此場合ドウシテモ之ヲ變ヘナケレバ、負擔ノ公正ハ圖リ得ラレナイノデハナイカト思フ。
○青木政府委員 私ガ高橋サンノ仰セニナルコトヲ誤解シタヤウナ所モアリマスガ、只今御話ヲ伺ヒマスト、ツマリ法人、百貨店ノ方ノ負擔ガ却テ輕クテ、サウシテ個人ノ小營業者ノ負擔ガ却テ重イカラ權衡ヲ得テ居ラヌカラ、言換ヘレバ大百貨店ガ逋稅シテ居ルヤウナモノデアル、斯ウ云フ御趣旨ト今諒解致シマシタ、サウ致シマスト結局此稅率ヲ按配致シマス上ニ於テ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、現在ノ營業收益稅デハ法人ト個人、殊ニ個人ノ小純益者千圓以下ノ所ガ權衡ヲ得テ居ラヌトスウ考ヘマシタカラ、此度稅率ヲ改正致シマシテ、其權衡ヲ取ッタノデアリマスガ、高橋サンノ御意見トシテハ、ソレデハマダ不十分デアルト、斯ウ云フ御

ガ、私共ハ此程度ニ於テ權衡ヲ得テ居ルト思フテ居ル譯アリマス
○高橋委員 百貨店ガ個人商店ヲ壓迫シテ居ルト云フコトハ、近來其傾向ガ益々甚シクナツテ居ル、殊ニ百貨店ガ地方ニ出張店ヲ設ケテ、地方ノ同業者ト申スト語弊ガアリマスガ、小賣商店ヲ壓迫シテ居ルコトハ、尙ホ一層都會地ニ於テヨリモ甚シイ、隨テ商人ノ經濟ニ重大ナル影響ヲ來スノデアリマスガ、之ニ付テ大藏省ハ如何ナル見地ヲ持ツテ居ルカ伺ヒマス

○青木政府委員 國稅ニ付キマシテハ只今申上ゲタコトデ、大體私共ノ致シテ居ルコトヲ申上ゲマシタノデアリマスガ、今ノ百貨店ガ小營業者ヲ壓迫シテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、隨分一般世間ニ於テモサウ云フ感ジヲシテ居ルモノト見エマシテ、例ヘバ東京市ニ於キマシテハ、是ハ内務省ノ政府委員カラ詳細ニ御述ベニナルベキ筈デアリマスガ、私ノ考ダヶヲ茲ニ申上ゲマスト、東京市ニ於キマシテハ、御承知ノヤウニ最近ニ百貨店ノ發行致シマス店ガ小營業者ヲ壓迫スルコトヲ少シナリトモ不便ニシヨウト云フヤウナ考ガアリマシテ、商品切手稅ニ付キマシテハ、日本ニ於テハ先例ノナイコトデ

ルル所ガ尤ナ筋ガアルト思ヒマシテ、大藏大臣ニ於テモ之ヲ許可致シタ次第デアリマス、此事ハ最近ニハ又關西地ノ書面ガ大藏省ニハ出テ居リマセヌ、ソレカラ是ハ租稅ノ理論上トシテハ餘程問題デアルト思ヒマスガ、東京市ノ家屋稅ハ、最近ニ累進課稅的ノ制度ヲ設ケマシテ、サウシテ大百貨店ガアリマス所ノ大キナ「ビルディング」ノ家屋稅ガ累進的ニ課ケラレルヤウニナッタト記憶シテ居リマス、是モ大藏省ニ於キマシテハ、家屋稅ノ性質カラ致シマシテハ、斯様ナコトハ面白クナイコトダント思フテ、成ルベク之ヲ避ケタ方ガ宜シトイ思フテ居リマス、成ルベク速ニ斯ウ云フコトハ止メタ方ガ宜トイ思ヒマスガ、東京市ニ於テ斯様ナ計畫ヲ樹テラレタノハ、ヤハリ多少ハ此百貨店ト云フヤウナモノト、小營業者トノ間ノ負擔ノ均衡ト言ヒマスカ、或ハ小營業者ガ大百貨店ニ壓迫セラル、ト云フヤウナコトニ付テノ御考ガアツタノデハアルマイカト想像シテ居リマス、何レニシテモ是ハ大藏省ガ許可致シテ、現在サウ云フ制度ヲ採フテ居ルノデアリマス、詳細ナルコトハ是ハ地方稅ノ問題デアリマスカラ、私カラ御答ヲシナイ方ガ

○本田委員長 高橋君鐵道ノ政府委員
ガ御見エニナリマシタ
○高橋委員 ソレデハ鐵道ノ方カラ伺
ヒマス
○後藤政府委員 御質問ノ時ニ居リマ
セヌノデ、御質問ノ御趣意ハ多分輸出
貨物ノ運賃割戻ノ實況ハ斯ウ云フ御話
デアルト承ツテ居リマスガ、其積リデ一
寸簡単ニ御説明ヲ申上グタイト思ヒマ
ス、輸出貨物ノ運賃割戻ハドウ云フモ
ノデアルカト云フコトハ、大體御承知
デアリマセウカラ、簡単ニ申上ゲテ見
マスルト、一定ノ標準ト申シマスカ、
條件ヲ具備シタ輸出貨物ニ對シマシテ
ハ、普通ノ所定ノ運賃カラ一律ニ三割
ヲ割戻ス、斯ウ云フコトニ定メテ居ル
ノデアリマス、其條件ガドウ云フモノ
デアルカト申シマスト、非常ニ煩ハシ
ウゴザイマスカラ申シマセヌガ、要ス
ルニ輸出貨物デアルト云フコトノ證
明、並ニ一定ノ發驛並ニ著驛ガ定メラ
レテ居ル、大體申上グマスレバサウ云
フコトデアリマス、鐵道省ニ於キマス
輸出貨物ニ對スル運賃ニ付キマシテ
シテ、特定運賃ナドヲ作ツテ居ツタコト
ガアリマス、昨年ノ五月カラ致シマシ
テ、特ニ一層之ヲ獎勵スルト云フ、意

味デ生絲、絹織物、綿絲、綿織物、斯
ウ言ヅタヤウナ十六品目ニ限リマシテ、
只今申上ゲマシタヤウナ割戻ヲスルコ
トニ定メマシテ、昨年五月以來此割戻
ヲ實行シテ參ツタノデアリマス、然ルニ
一寸其數字ヲ申上ゲマスト、五月ニ於
キマシテハ僅ニ發送噸數ト致シマシ
テ約四百噸バカリ、運賃ガ五百五十圓
バカリ、斯ウ云フ實績デアツテ、六月、
七月、九月、十月頃ニナリマスト、發
送噸數モ約七千噸バカリ、運賃モ約二
萬五千圓バカリニナツテ居ル、漸次殖工
テハ參リマシタケレドモ、所期ノ目的
ハ尙ホ達セラレナイト云フコトガ起ツ
テ參リマシタノデ、十一月ニナリマシ
テ、品目ニ付キマシテモ尙ホ人造絹絲、
或ハ玩具類、其他約十三品目バカリヲ追
加致シマスト同時ニ、發著驛ニ付テモ
相當ニ追加シテ之ヲ廣クシテ、色々扱
ノ上ニ於キマシテモ簡易ナ方法ヲ設ケ
マシタ、斯ウ云フ風ニ十一月ニ改メル
コトニ致シマシタ、ソレニ依ツテ相當ノ
成績ヲ舉ゲルコトニナツタノデアリマ
ス、一月ノモノハマダ分リマセヌガ、
十二月マデノ成績ヲ見マスト、十一月
ノ扱噸數ガ約一萬五千噸、運賃モ約九
萬五千圓、十二月ニナリマスト尙ホ增
シマシテ、扱噸數ガ約一萬八千噸、運

テ參リマシタノデ、將來ト致シマシテ
ハ相當ナ好成績ヲ舉ゲルコトダラウト
思ツテ居リマス、之ニ對スル運賃ノ二割
ヲ割戻スノデアリマスカラ、十二月ノ
十一萬圓ニ對シマシテ、約二萬二千圓
バカリヲ割戻シタ、斯ウ云フコトニナツ

ガアルト云フヤウナ爲ニ、此二ツノ點ニ於テ非常ナル支障ガアツタ爲ニ、折角ノ案モ是ハ用ヒルニ術ガナカツタトスウ云フヤウナ工合ニ吾々ハ承知致シテ居ル、是ハ十一月ニ御改正ニナツタト思ツテ居リマスガ、此點ハドンナ工合

ガアルト云フヤウナ爲ニ、此二ツノ點ニ於テ非常ナル支障ガアツタ爲ニ、折角ノ案モ是ハ用ヒルニ術ガナカツタト思ツテ居リマスガ、此點ハドンナ工合ニ改マツテ居ツタカト云フコトヲ簡単デ宜シウゴザイマスカラ……

○後藤政府委員 御話ノ如ク此貨物ノ取扱ニ付キマシテハ從來ノモノハ貸切竝ニ順扱、斯ウ云ツタモノニ限ツテ居タノデアリマスガ、此十一月ノ改正ニ當リマシテハ、大體一般的ニ小口取扱ノモノニモ之ヲ適用スルト云フコトニナリマシタノデアリマス、尙ホ實際ノ輸送ナリ其他ノ手續上ノ問題ト致シマシテモ、例ヘバ荷造トカ、或ハ検査所ノ検査トカサウ云フヤウナコトニ依リマシテ、輸出品タル所ノ證明ト云ヒマスカ、確認ヲシ得ルモノニ付テハ特ニ輸出免許ナドヲ要シナイ、斯ウ云ツタヤウナコトニ致シマシテ、所謂手續上ノ簡易化ノ實行ト云フコトニ依リマスカトガ出來ルコトニナツタノデアリマス〇

○高橋委員 荷物著ノ所ハ直送セヌデモ宜シイト云フコトニナツタノデアリマスカ、波止場マデ直送シナケレバナラヌト云フコトニナツタノデスカ

○後藤政府委員 其點ハ的確ニ規則上

アリマス、當時モ御話ガアツタコトガ
アツタモ思ツテ居リマスガ、當時ノ改
正ニ於キマシテハ鐵道省ト致シマシ
テ、約六百五十萬圓バカリノ運賃ノ低
減ヲスル、全體ノ收入ガ約二億内外ノ
モノニ對シマシテ、約三分位ニ相當シ
テ居ルカト思ウテ居リマスガ、其位ノ
運賃ノ低減ヲ計ツタノデアリマス、併ナ
ガラ爾來尙ホ物價ノ低落モ著シク、其
他ノ財界ノ變動ト云フコトモ著シイノ
デアリマシテ、恐ラクハソレ以後ニ於
ケル狀況ニ對應スベキ運賃ノ改正ト云ツ
タヤウナコトヲ御尋ニナッテ居ルノカ
ト思ヒマスガ、其點ニ付キマシテハ、
勿論鐵道ト致シマシテモ、相當ノ考慮
ヲ拂ツテ居リマスケレドモ、或ハ事政策
ニ關スル問題デアリマスルカラ、直ニ
的確ナコトハ申上ゲラレナインデアリ
マス、併ナガラ御承知ノヤウニ鐵道ノ
特別會計ト云フモノハ、一般ノ會計カ
ラ獨立致シタ全ク自給自足ノ會計デ
アリマシテ、隨ヒマシテ、鐵道ノ建設
トカ改良トカ云フヤウナモノマデモ自
ラ之ヲ賄ツテ行ク、斯ウ云フ建前デアリ
マスルノデ、必ズシモ外部ノ變動ト云
フコトニ依リマシテ、直ニ運賃ノ改正
ガ出來ルカドウカト云フコトハ可ナリ
ナ問題ダラウト思フノデアリマス、即
チ建設ナリ改良ナリト云ツタヤウナ鐵
道ニ必要ナル財源ヲ得ルト云フコトガ

度ノ運賃ヲ取ツテ行カナケレバナラヌ、或ル程
斯ウ云フコトニ今日ト致シマシテハナルト云フコトモ相當ニ考ヘナケレバナルカト云フコトハ申上ダラレナイコトデハナイカト思フテ居リマス

○高橋委員 鐵道ノ收入ヲ舉ゲルト云
フコトヲ慮ルト云フコトハ、又鐵道當局自體トシテハ一ツノ重要ナル考慮事項デアルカモ知レマセヌ、併ナガラ鐵道運賃ニ依ツテドレダケ產業ガ阻害ナレ、商取引ノ澁滯ヲ來スカト云フコトハ國家全體ニトツテ非常ナル大キナ影響デアリマス、ソレデアリマスカラ、鐵道デ失ウテモ、國家全體ノ上カラ云フテ、非常ナル利益ノアル場合ガアル、例へバ今日ノ石炭ノ如キハ先程申上ゲタ
通リニ、石炭ハ我國家庭竝ニ工業ノ源泉トモ云フヤウナモノデアリマシテ、必要缺クベカラザルモノデアル、石炭ノ消費量ノ大小、——此頃ハ之ニ石油ガ入ツテ居リマスケレドモ、是デ以テ一國ノ文明モ測定サレ、又產業能率ト云フモノモ之ニ依ツテ測定サレルト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、其石炭ガ、今日ハ運賃ガ非常ニ高イガ爲ニ、石炭ヲ動カスコトガ出來ナイ、或種ノ石炭ノ如キハ三割以上ハ運賃ニ切ラレル、ソレデドウシテモ之ヲ動カシ

シテ居ル數ハ非常ニ多イ、或ル場合ニ
於テハ年末アタリハ約二百萬噸ノ多數
ノ石炭ガ堆積シテアルヤウニ私ハ思
テ居リマス、過日室蘭ニ參ッタ時分ニ
ハ、六十萬噸ノ石炭ガ埠頭ニ山ヲ成シ
テ積ンデアルノデアリマス、斯ウ云フ
ヤウナコトデアリマシテ、是ハ何ダト
云フト、運賃關係デアル、運賃關係ガ
重ナルモノデアル、ソレデアリマスカ
ラ、若シ此運賃ヲ引下ゲテ、是等ノ滯
貨ガ動クコトニナリマスレバ、ヤハリ
鐵道收入モ非常ニ多イト云フコトニ相
成ルノデアリマス、唯運賃ガ率ガ高イコ
カラ收入ガ餘計學ガルト云フノハ、是
ハ餘リ商賣ノ氣心ノ御持合セガナイコ
トノヤウニモ吾々ハ考ヘラレル、ソレ
デアリマスカラ、運賃ノ引下ニ依テ
却テ收入ノ増加スル場合ハ數アルコト
ト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フコト
ヲ考慮シマス時分ニ、私ハ何ヨリモ先
立ツテ、運賃ノ引下ト云フモノハ今日ノ
經濟界ヲ賑ハス、經濟界ノ行詰リヲ打
開スル最モ捷徑ノ一つノ對策デアル、
斯様ニ考ヘテ居ル、之ニ鐵道當局ガ手
ヲ觸レラレナイト云フ事ハ吾々ハ怪訝
ニ堪ヘナイ、ソレデアリマスカラ是等
ノコトハ政策デアリマスカラ、政府委
員ヲ通ジテ御伺ヲスルト云フコトハ、
是ハ途ガ違フヤウデアリマスカラ、敢

テ是ハ深クハ追窮致シマセヌ、但シ私
ハ看遁スベカラザルモノトシテ今日ド
ウナツテ居ルカヲ聽キタイ、ソレハ民
間デ非常ナ騒ギヲ致シテ居リマスコト
デ、殊ニ日本海ニ於ケル所ノ船舶業者
ハ非常ナ困憊ヲ此夏カラ秋ニ掛ケテ致
シテ居ツタノデアリマスガ、船舶界ノ振
ハザル今日ニ於テ、此船舶貨物ガ、殊
ニ北海道内地間ノ船舶貨物ガ、内地直
送ノ物ニ限ツテ鐵道ハ特別ノ運賃割引
ヲサレタ、一割五分カ二割ヲ引カレタ
ト思フノデアリマシテ、是ガ爲ニ海運
ニ依ルベキ所ノ貨物ガ鐵道ニ取ラレタ
ト云フ形ニナツテ、サナキダニ困憊、疲
弊ヲ極メテ居ル所ノ船舶業者ハ一層ノ
困難ヲ感ジタト云フコトニナルノデア
リマス、左様デアリマスカラ國營事業
ト民間事業トガ競争ヲ致スト云フ事
ハ、民業ノ壓迫トナルバカリデナク、
經濟界ノ斯ノ如ク行詰レル今日ニ於
テ、私ハ是ハ國家トシテ執ルベカラザ
ル御方針デアルト斯様ニ考ヘテ居リマ
ス、之ニ對シテドウ云フ處置ヲ御執リ
ニナツタカ、是デ國家ハドレダケノ收益
ヲ擧グラレタカト云ツタヤウナコトヲ簡
單ニ要領ダケヲ御答ヲ願ヒタイ

ナ事モアル事ダト思ヒマスガ、併シ大體ト致シマシテハ運賃其モノヨリモ一層市場ノ状況ト云フコトニ原因シテ貯炭ガ多イノデナイカト思ヒマスガ、併シウト思ヒマス、唯鐵道ト致シマシラ石炭ノ運賃ヲ低下スル事ニ依ッテ、石炭ヲ餘計輸送スル、即チソレニ依ッテ運賃ヲ餘計增收スルト云フ事ハ、或ハ期待ガ出來ナインヂヤナイカト思ッテ居リマス、尙ホ運賃ノ高イガ爲ニ市場へ出ルベキモノガ出ナイト云ツタヤウナモノニ對シマシテハ、出荷獎勵ノ意味ヲ以チマシテ、相當ニ各方面ニ亘ツテ調査ヲ致シマシテ、其結果特別ニ普通運賃カラ或ル程度ノ割引ヲ致シテ居リマス、サウ云ツタヤウナモノハ相當ニアルノデアリマスルガ、是ハ中々調査ガ困難デアリマスノデ、今日其細カイ數字ハ持ツテ居リマセヌガ、兎ニ角出荷獎勵、即チ運賃ガ高イ爲ニ出ルベキモノガ出ナイト云フヤウナモノニ對スル特別ナ運賃ノ割引、斯ウ云ツタヤウナ事ハ相當ニ實行致シテ居ルノデアリマス、最後ニ海運トカ、或ハ他ノ民間ノ交通機關ニ對シマシテ、國有鐵道ガ競爭的ニ運賃ヲ値下スル、或ハ割引ヲスルト云ツタヤウナ事ハ、鐵道省ノ大體方針トシテハ實行シナイ方針デアリマス、即チ民間ノ業者ヲ壓迫スルヤウナ意味

デ運賃政策ヲ執ル、斯ウ云々タヤウナ事ハ、方針ト致シマシテハ避ケル方針ヲ執ツテ居リマス、偶ニ只今申上ゲマシタヤウナ意味ノ出荷獎勵ノ意味ニ於キマシテ割引ヲスルト云フタヤウナ事ガ、或ル場合海運其他ノ交通機關ト云フモノト關係ノアル場合ガアラウカト思ヒマスケレドモ、成ベク競爭的ナ立場ニ於テ運賃ヲ割引スル、斯ウ云々タヤウナ事ハ避ケル方針デアリマス

○高橋委員 今ノ北海道ノ出荷ニ對シテ御獎勵ニナル結果鐵道ノ運賃ヲ引下グ、船舶業者ヲ事實ニ於テ壓迫シタ、其結末ガドウナツタカ不幸ニシテマダ承知致サナインデアリマスガ、此結末ガドウナツカト云フコト、私ハ石炭ヲ最モ經濟界ニ影響シタ主ナル商品ノ一炭ノ値段ニ響クカト云フト、近頃新聞紙ヲ見テ居リマスト、鐵道ノ六年度ニマスガ、是等運貨ノ關係ガドレダケ石炭トシテ例ニ舉ゲタニ止マルノデアリマスガ、是等運貨ノ關係ガドレダケ石炭ノ値段ニ響クカト云フト、近頃新聞紙ヲ見テ居リマスト、鐵道ノ六年度ニ於ケル所ノ石炭買入ノ契約ハ二割減ヲ標準トシテ交渉ヲ進メラレテ居ルト云フコトヲ伺ツテ居ルノデアリマス、之ニ付テ昨年ノ暮ニ於テ船舶業者ガ非常ニ困ツタ、殊ニ北海道ヲ中心トスル船舶業者ト、北海道ノ出炭組合ト申シマスカ、炭業者ノ組合トノ間ノ協定デハ、炭業者ハ昨年ヨリ「バンカ・コール」ニ向

向ツテ來テ居ルノデアリマス、所ガ此不況ノ際ニ「バンカ・コール」ヲ上ダラレルコトニナルト、是ハ非常ニ損害ヲ被ルノデアリマス、船舶業者ハ一割五分高クサレルト云フノニ、鐵道ハ逆ニ二割下ゲルトナルト、逆ニ三割五分ノ隔リガ出來ルノデアリマス、鐵道ハ運賃ハ手前持チデアリ、先方ハ運賃ヲ支拂ハナケレバナラヌト云フノデ、斯ウ云フヤウニ色々ナ影響モ生ジテ來ルノデアラウト思フノデアリマス、民ト官ノ力ノ、威力ノ統制力ニ於テ、各々壓迫力ハ違ヒマセウガ、鐵道運賃ハ重要ナル「ファクター」トシテ吾々ハ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、是等ノ事ニ付キマシテ一應ノ御意見ヲ拜聽スルコトガ出來マスレバ、結構ダト思ヒマス

是又先程申上ダマシタヤウニ、鐵道自身ノ財政ノ状態ト云フモノガ思フヤウニ運賃引下ト云フコトヲ今日ト致シマシテハ實行シ得ナイヤウナ状勢ニアルノデハナイカト云フ具合ニ私自身ハ思ツテ居ル、海運トノ競争ノ關係ガドウナツテ居リマスカ、鐵道ノ昨年ノ運賃改正以來、海運ト鐵道トノ輸送ノ状況ハドウデアルカト云ツタヤウナ意味合ノコトハ、調べモ困難デアリマスト同時ニ、今日尙ホ調べテ居リマセヌカラ一寸申上ゲルコトノ出來ナイヤウナ状態デゴザイマス

貨銀——乗車賃ト云フヤウナモノモ是

モ引下ヲスベキガ當然デアル、殊ニ

今日ハ尙ホ其度ガ強クナッタト思フノ

デアリマス、三等乗客ガ九割七分モア

ルナド、云フ數字ヲ吾々ハ見タコトガ

アルノデアリマスガ、今日ハドウデア

リマスカ、ソレト大差ナイト思ヒマス、

斯ツ云フ場合ニ於テ少シノ輕減モサレ

ナイト云フコトハ——此内閣ハ少クモ

低物價政策ヲ執ラレテ居ル、ソレデア

リマスカラ、此運賃、乗車賃ト云フモ

ノニ對シテ輕減ヲ爲サルノガ當然デア

ル、私ハ鐵道ノ運賃トカ乗車賃ト云フ

モノハ之ヲ稅金ノ一部ト見テ居ル、大

藏大臣ハ昨日專賣益金ハ稅金ト同ジダ

ト御言明ニナッタ、吾々モ其通リニ見テ

居ル、ダカラ吾々ハ稅金デ以テ減稅サ

レテモ價値ノ高イ貨幣デ拂フ運賃ト云

フモノデ增稅サレタト考ヘテ居ルノデ

アリマス、三割物價ガ下落シタナラバ、

ソレ以上ニ運賃ノ引下ヲシテ戴カナケ

レバ、吾々ノ有スル貨幣ノ價値トハ釣

合ガ取レナイノデアリマス、即チ釣合

ノ取レナイ高イ價値ノ貨幣デ支拂フト

云フコトハソレダケ三割ナラ三割ダケ

値上ヲサレタト同ジニナル、詰リ增稅

サレタト同ジコトニナルト吾々ハ考ヘ

ルノデアリマス、ソレデ私共ハ鐵道ノ

運賃デアルトカ是等ノ事ヲ重要ナ案件
ト致シテ減稅委員會デ論議ヲ致ス所以

デアルノデアリマス、平年度僅ニ二千

五百萬圓ノ減稅ヲサレテモ斯ウ云フ方

面ニ於テ何等國民ハ恩惠ヲ受ケナイト

云フコトデアッテハ何ニモナラヌデハ

ナイカ、專賣益金ハ二億ニ近イ、一億數

千萬圓、又今日ハ此鐵道ノ運賃ハ二億

ノ稅金ト同ジモノデアリマス、此中ニ

於テ少シモ吾々ハ昭和六年度ニ於テ或

ハ五年度ニ於テ何等考慮サレナカッタ

ト云フガ爲ニ國民ノ富ハ著シク減殺サ

レルト云フコトヲ此場合考慮ニ入レナ

ケレバナラヌト思テ色々ノ事ヲ伺ッテ

メテ置キマス

○本田委員長 高橋君ニ申上ゲマスガ、

今朝御話ニナッタ委員會ノ速記ハ二十

三日迄ノ分ガ本日ノ午後三時迄ニ出來

上ルト云フ報告ヲ得マシタカラチヨッ

ト御通知シテ置キマス

○松谷委員 其事ニ付テ申上ゲマスガ、

私モ速記ヲ見タ上デ更ニ質問シタイト

考ヘテ居リマスカラ……

○本田委員長 ソレハ其場合ニ仰シャ

テ下サイ、是デ休憩致シマス、午後一

時三十分カラ開キマス

○内田委員 去ル二十一日海軍大臣ニ

新艦船維持費ノ點ニ付テ御尋致シマシ

タル、然ルニ新艦ノ完成期ト並ニ廢艦時

期トガ不明ナル故ヲ以チマシテ、新艦

船維持費ガ來ル昭和十一年度末マデニ

ハ五年度ニ於テ何等考慮サレナカッタ

ト云フガ爲ニ國民ノ富ハ著シク減殺サ

レルト云フコトヲ此場合考慮ニ入レナ

ケレバナラヌト思テ色々ノ事ヲ伺ッテ

メテ置キマス

シマス——内田信也君

○内田委員 去ル二十一日海軍大臣ニ

新艦船維持費ノ點ニ付テ御尋致シマシ

タル、然ルニ新艦ノ完成期ト並ニ廢艦時

期トガ不明ナル故ヲ以チマシテ、新艦

船維持費ガ來ル昭和十一年度末マデニ

ハ五年度ニ於テ何等考慮サレナカッタ

ト云フガ爲ニ國民ノ富ハ著シク減殺サ

レルト云フコトヲ此場合考慮ニ入レナ

ケレバナラヌト思テ色々ノ事ヲ伺ッテ

メテ置キマス

○本田委員長 高橋君ニ申上ゲマスガ、

今朝御話ニナッタ委員會ノ速記ハ二十

三日迄ノ分ガ本日ノ午後三時迄ニ出來

上ルト云フ報告ヲ得マシタカラチヨッ

ト御通知シテ置キマス

○松谷委員 其事ニ付テ申上ゲマスガ、

私モ速記ヲ見タ上デ更ニ質問シタイト

考ヘテ居リマスカラ……

○内田委員 去ル二十一日海軍大臣ニ

新艦船維持費ノ點ニ付テ御尋致シマシ

タル、然ルニ新艦ノ完成期ト並ニ廢艦時

期トガ不明ナル故ヲ以チマシテ、新艦

船維持費ガ來ル昭和十一年度末マデニ

ハ五年度ニ於テ何等考慮サレナカッタ

ト云フガ爲ニ國民ノ富ハ著シク減殺サ

レルト云フコトヲ此場合考慮ニ入レナ

ケレバナラヌト思テ色々ノ事ヲ伺ッテ

メテ置キマス

ノデアル、昭和十年、十一年度ニ至ツテ
廢艦ガ出來ルノデハ、差引一萬六千噸

ノ増トハ雖モ、其新艦完成ノ時期及ビ
廢艦期ノ如何ニ依ツテ艦船維持費ガ増

減スルコトハ、是又明カナル所以デア
リマス、故ニ私ハ新艦船維持ヲ論究ス

タノデアリマス、故ニ私ハ新艦船ノ工
程ニ付テ御伺致シ、並ニ條約ニ基ク廢

艦及ビ新艦完成ニ伴フ廢艦ニ付テ御伺
致シタイノデアリマスガ、海軍省ニ於

ケル御調查ノ結果ヲ今日茲ニ吾々委員
会ニ至ル建造中及ビ新規ノ計畫ニ依ル艦

船增減豫定表ナルモノガ配付サレタノ
デアリマス、私ハ申上ゲテ御答デハアリマ

スガ、其各造船所ニ於テ目下製造中
去ル二十一日ノ私ノ質問ノ時ニモ、完

成期等ニ付テ御伺致シマシタ所ガ、是
デアリマス、私ハ申上ゲテ御答デハアリマ

スガ、其各造船所ニ於テ目下製造中
去ル二十一日ノ私ノ質問ノ時ニモ、完

成期等ニ付

○ 安保國務大臣　只今ノニ御答致シマスガ、其表ノ發表ハ勿論軍縮會議ノ來ラントスル時代ニ、自分ノ國ノ豫定ニアラテ居ルノガドウト云フヤウナコトヲ表ニ編成スルト云フコトハ是ハ當然ヤル所デアリマシテ、ソレヲ自然發表スルコトニ相成リマシタコト、存ズルノデアリマス、尙ホ其處ニ掲ゲテアリマスノハ恐ラク註文濟若クハ發令濟ノモノト存ジテ居リマス、ソレダケ御答シテ置キマス

○ 内田委員　ソレハ註文濟、發令濟デセウ、是ハ海軍大臣ノ御話ノ通リト私ハ記憶シテ居リマスガ、註文濟デモ、發令濟デモ、軍機々々ト仰シャルガ、ソレナラ私申上ゲタクナル、軍機ト云フコトハ私ハ成ベク時代ノ進運ニ伴レテ狭ク、眞ニ用兵作戦ニ屬スルモノノミニ局限シテ行クベキモノダト考ヘル、レハ知ラセナイデ稅金ダケ出セ、ソレデハ國民カラ稅金ヲ取ッテ艦ヲ拵ヘテ、其艦ガ何時出來ルカ俺ハ分ラヌト言ッテ、ソラ、是ハ恐ラク財部海軍大臣トノ間ニ

御引繼モアリ、又加藤前軍令部長ト現
谷口軍令部長トノ間ニモ御引繼ガアッ
タコト、思ヒマスガ、是ハ軍令部ガソ
ンナコトヲ言フ筈ハ斷ジテ私ハナイト
思フ、軍機ニ關スル、用兵ニ關スル事
ダカラ、軍令事項ダカラト言フテ、無暗
ニ祕密ニナサルガ、是ハ議會ノ答辯上
工合ガ惡イカラ海軍大臣ニ於テ祕密ニ
遊バサレルノデアッテ、軍令部長ニ於
テ、所謂用兵作戰ノ衝ニ當ル軍令部ニ
於テハ、少クトモ斯ノ如キモノマデモ
祕密ニナサレルト云フ肚ハナイト信ズ
ル、如何トナレバ其處ニ堀軍務局長モ
オキデデスガ、恐ラク御引繼ガアッタ
ニ違ナイ、吾々責任ノ衝ニ當ッテ居ル
時分ニ、前軍令部長加藤寛治大將ハ、
軍機軍令ト云フコトハ眞ニ用兵作戰ニ
關スル事ノミニシヨウ、軍艦ノ建造ニ
當ツテ國民ノ理解ヲ求ムル上ニ於テハ、
徹底的ニ理解ヲ求メナケレバナラナイ、
故ニ太平洋作戰ニ於テモ此艦ガ何艘要
ル、戰時ニ於テハ第一艦隊ハドウ云フ
艦隊ヲ以テ編制シ、第二艦隊ハドウ云
フ編制ヲシ、第三艦隊ハドウ云フ編制
ヲシ、而シテ有事ノ日ニハ斯ク行動ス
ルモノデアル、故ニ此種ノ艦ガ要ツテ、
戰爭ノ初期ニ於テハ斯ウスル、終期ニ於
テハ斯ウスルト云フヤウナ事マデモ、
或程度ノモノハ之ヲ知ラシメル必要ガ
アルト云フノデ、日ハ忘レマシタガ、

令部長室ニ於テ、海軍省軍令部ノ省部首腦部會ト云フモノヲ開イテ、日本ガ軍令部下モ御參列ニナツタ、其時ノ引繼書ハ多分海軍大臣ノ御手許マデ行フテ居ルコトデセウガ、其時ノ引繼書ニモ、特ニ内田政務次官ヲ加フトマデ海軍々令部長ハ書イテ、今後軍機軍令ニ關スルコトハ眞ノ用兵作戦ノコトニ關スル事ノミニシヨウト云フ御發議ガアツテ、當時其會議ノ開カレタ其引繼書ハ、確ニ堀軍務局長ナリ海軍大臣ノ御手許マデ參ツテ居ル筈デアル、當時議會ニ於テノ質問ニ對シテハ、其當時國民ニ理解ヲ得ルヤウ、此種ノ艦ハ用兵上必要デアル、其所マデ議會デ説明シヨウ、サウ云フコトヲ軍令部長室ニ於テ軍令部長ガ御發議ニナツタ、然ルニ今日此不景氣ノ時ニ艦ノ協賛ヲ求メテ居ルノニ、國民ニ稅金ハ出セト言ツテ、何時艦ガ出來ルカソレハ言ヘナイ、ソレハ軍令部長ノ意思ニ反シテ、寧ロ海軍大臣ガ軍機軍令ノ四字ニ隱レテ國民ヲ瞞著セントスル所デアリマス、此事ニ付テハ軍令部長ノ御引繼其他ニ付テハ内部ノ事デアルカラ更

ニ追窮致シマセヌガ、更ニ其事實ニ付テ
ハ確ニ其時分ニ其會議ガアツタコトヲ利
ノ全人格ヲ賭シテ表明スルト共ニ、安保
海軍大臣ノ御反省ヲ促ス所以デアリマス
○**安保國務大臣** 今内田サンノ御話ニ
ナリマシタ事柄ハ私モ承知シテ居リマ
ス、線表ト云フモノヲ發表シナイト云
フノハ、單リ軍機軍令ニ隠レテト云フ
ヤウナ意味デモアリマセヌガ、兎ニ角
ズト先ニ瓦ル艦船ノ計畫ハ、何年カラ
何年マデノ間ニ何々ガ出來テ、其費用ハ
是々ト云フ意味ノ全體ト云フコトニ
ナツテ御協賛ヲ願フテ居リマス次第デア
リマシテ、其中ノ何時ニナルトドノ艦
ガ竣工スルカト云フ細カイ事ハ、一ツ
ハ兵力ノ段々出來テ行キマス工合ヲ割
合ニ早ク外國ニ知ラセルト云フ意味モ
アリ、一方ニハドウ云フ艦ガ何年マデ
ニ出來上ルノデアルト云フ細カイ事マ
デ考ヘマスト云フト、民間造船所等ノ
關係上、先ヅ暫ク適當ナ時期マデ控ヘ
ルト云フコトヲ適當トスルヤウナ意味
ガアリマシテ、之ヲ公開ノ席デ發表ス
ルト云フヤウナ意味ノコトハ、從來モ
避ケテ居ツタ次第デアリマスカラ、左様
御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

外ノ政府委員ノ退場ヲ求メル力求メナ

イカ、ソレハ決議ニ依ルト云フヤウナ
先例ニナツテ居リマスカラ、決議ニ依リ

卷之二

○岡田委員　ソレテハ一言——是ハ決

○高橋委員 議員ノ傍聴ヲ許サナイト云フ先例ハ無カツタと思フ

○本田委員長 アリマス

○高橋委員 許サナイト云フコトガ原則デアルト云フ先例ハ無イダラウト思

トニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
賛成者 起立

〔午後四時五分祕密會ヲ終ル〕

ス、詰リ委員長ノ御考次第デアリマシ

フ、許サナイコトガ出来ルト云フコト
デ、御諭リニナツタコトガ一二度アルト
ム、我即汝ノテ居レ、ソノ、余外利

リマス、成程サウ出來ルヤウニナツテ居
リマス、議員ノ傍聽ハ許シマス、是ヨ
リ祕密會ニ入り議員以外ノ傍聽人ノ退

サツテ、御茶デモ召上ツテハ——海軍大臣モ御疲レノヤウデスカラ、私ハ戦鬪力ガアルケレドモ……

ヲ守ルベキモノト思フノデアリマスカ

會ニ於テ十分論議ヲ致シテ、私ガ懲罰ニナツタコトガアリマスカラ、能ク記憶

〔午後二時二十五分祕密會ニ入ル〕

○会期ガ切迫シテ居リマスカラ……
「休憩々々ト呼フ者アリ」

○本田委員長 岡田君ノ御意見テアリ

リトシテ議會テ論議サレ、即チ議員ノ
退場マデモ命ズルト云フコトガ、惡例
ナリトシテ當時取扱ハレタノデアリマ

○岡田委員 私ハ動議ヲ出シマス、即
チ祕密會ニ致スコトヲ希望致シタウゴ
ザイマス、祕密會中ノ言論ハ何レモ之

午後四時十一分休憩

○本田委員長　先例ニ基クコトニ致シ

○本田委員長　兎ニ角決ヲ採リマス、
ヲ以テ、御取計ヒヲ願ヒタイト考ヘテ
居ルノデアリマス

院ニ保管サレルコトニ致シタイト思ヒ
マス、此動議ヲ提出致シマス
○本田委員長 岡田君ノ動議ニ御異議
アリマセヌカ

○内田委員 只今祕密會中ニ於キマシテ海軍大臣ヨリ特ニ新艦船ノ起工並ニ竣工期及ビ廢艦ニ付テノ御説明ガアリマシタ、所ガ不幸ニシテ此特ニ祕密會マデヲ要求シテ重大ナル御取扱ヲ以テ

ガ、議院ノ先例彙纂ノ第百三及ビ第百二ニアリマ、

ス間ハ祕密會ニ致シマス、而シテ祕密會後ハ無論公表ハ致シマセヌガ、速記ヲ取シテ束ネテ置クカ、或ハ速記ヲ中止

○本田委員長　長クテ讀ムノニ困リマスガ……

スルカト云フコトハ、決ヲ採ツテ決定致シマス、速記ヲ此間中止スルト云フヨ

〔午後二時三十五分祕密會ニ入ル〕

分リマセヌガ、目下貴族院ニ於テ審議
中ノ昭和六年度歲入歲出總豫算案ニ伴

フ海軍省ノ各目明細書、此明細書ニ記載シテアル所ノ昭和六年度ノ補助艦艇製造、即チ新補充計畫ノ中驅逐艦ニ於テ今回祕密會ニ於テ御説明ノ隻數ト一隻ノ相違ガアル、更ニ潛水艦ニ於テ此各目明細書ト海軍大臣ノ御説明トノ間ニ二隻ノ相違ガアルコトヲ發見致シマシタコトハ、寔ニ遺憾ニ堪ヘナイ次第デアリマス、而モ此豫算ハ不幸ニシテ與黨ノ絕對多數ヲ以テ衆議院ヲ突破サレタノデアリマス、今ヤ貴族院デ審議中デアリマスガ、此事ガ豫算審議中ニ發見サレナカッタコトハ本員ノ頗ル遺憾ニ堪ヘナイ所デアリマス、次ニ廢艦表ニ付テ先般海軍大臣ハ本席上ニ於テ艦齡外ニ屬スルモノ、中デモ役ニ立タヌモノカラ漸次廢艦スルト云フ御話デアッタ、所ガ只今御説明ノ、殊ニ潛水艦ニ於テ七年度ヨリ十一年度ニ亘リ各年數千噸ヅヽノ廢艦表、除籍表ニ於テ、私ハ只今御説明ヲ聽イテ、即座ニ此合計數萬噸ニ亘ル潛水艦ノ艦齡ヲ一々調査スル邊ガゴザイマセヌデシタガ、承ッテ即時七年度中ニ艦齡僅ニ十一年ニホカ達シナイ所ノ若イヽ潜水艦マデモ除籍サレル、此除籍表ニ載ツテ居ルト云フコトハ、先般ノ海軍大臣ノ艦齡外ノ船ノ中デモ役ニ立タヌモノカラ除籍シ、廢艦スルト云フ御言葉ト趣旨ニ於テ相反スルモノデアルト云フコトヲ申

上ゲタ次第デアリマスガ、事茲ニ至ル所ノ成行ニ付テノ内容ハ、祕密會ノ所ハ除デアリマスカラ、公開ノ席上之ヲ再ビ繰返スコトヲ御遠慮致シマスガ、此結果ダケニ付テハ此公開ノ速記錄ニ於テ明カニ致シタイト思ヒマスカラ、ソレニ付テ論ダケニ付テハ此公開ノ速記錄ニ於テニ付テ唯御承認アランコトヲ願フノデアリマス

○安保國務大臣 唯今内田サンカラノ御話ガアリマシタガ、祕密會ノ間ニモ一應申上ゲテ置キマシタヤウニ、潛水艦ガ二艘喰違ヒガアル、ソレカラ驅逐艦ガ一艘喰違ヒガアル、是ハ起工ニ著手スル上ニ於テノコトデ、茲ニ御示ヲ致シマシタノハ大體、維持費ト云フヤウナコトヲ考慮ニ置キマシテ、其竣工ノ年月ト云フ所ヲ押ヘテ大體申上グマシタ次第デアッテ、之ヲ豫算ノ中ニ當儀メテヤリマスル時ニハ、ドウシテモ其處ニ多少ノ出入ガアルト云フコトハ免メ此驅逐艦、潛水艦、即チ驅逐艦ニ於テ一艘、潛水艦ニ於テ二艘、昭和六年度ノ豫算ト喰違フ——今度ノ補充計畫ノ著手隻數ト喰違ヲ來シテ居ルト云フコトニ付キマシテ、唯今海軍大臣ヨリ實行上多少喰違フノハ仕方ガナイト云フ御話デアリマスガ、竣工期ガ遅レト云フ機會ガアルカモ知レマセヌガ、大體サウ云フ意味デアリマシテ、又第ニ於キマシテ此前ノ機會ニ廢艦ニスル邊ガゴザイマセヌデシタガ、承ッテ

ノ時期ニ全ク廢棄シテシマフト云フコトニナル次第デアリマシテ、勢力ノ上カラ行キマシテモ、之ヲ實行ノ上カラ一應申上ゲテ置キマシタヤウニ、潛水艦ガ二艘喰違ヒガアル、ソレカラ驅逐艦ガ一艘喰違ヒガアル、是ハ起工ニ著手スル上ニ於テノコトデ、茲ニ御示ヲ致シマシタノハ大體、維持費ト云フヤウナコトヲ考慮ニ置キマシテ、其竣工ノ年月ト云フ所ヲ押ヘテ大體申上グマシタ次第デアッテ、之ヲ豫算ノ中ニ當儀メテヤリマスル時ニハ、ドウシテモ其處ニ多少ノ出入ガアルト云フコトハ免メ此驅逐艦、潛水艦、即チ驅逐艦ニ於テ一艘、潛水艦ニ於テ二艘、昭和六年度ノ豫算ト喰違フ——今度ノ補充計畫ノ著手隻數ト喰違ヲ來シテ居ルト云フコトニ付キマシテ、唯今海軍大臣ヨリ實行上多少喰違フノハ仕方ガナイト云フ御話デアリマスガ、竣工期ガ遅レト云フ機會ガアルカモ知レマセヌガ、大體サウ云フ意味デアリマシテ、又第ニ於キマシテ此前ノ機會ニ廢艦ニスル邊ガゴザイマセヌデシタガ、承ッテ

ノ時期ニ全ク廢棄シテシマフト云フコトニナル次第デアリマシテ、勢力ノ上カラ行キマシテモ、之ヲ實行ノ上カラ一應申上ゲルト云フコトヲ答ヘテ居リマス、其點ヲ説明シタイト思ヒマスカラ御聽ナサツテ宜イト思ヒマスウ云フヤウナ意味モアツテ、自然其處ニ喰違ガ生ズルト云フコトヲ政府委員カラ一應一寸説明サセマス

○本田委員長 先刻内田君ノ御問ノ中ニ祕密會ノ中ニ政府委員ヲシテ調べテ申上ゲルト云フコトヲ答ヘテ居リマス、其點ヲ説明シタイト思ヒマスウ云フヤウナ意味モアツテ、自然其處ニ喰違ガ生ズルト云フコトヲ政府委員カラ一應一寸説明サセマス

○内田委員 唯今ノ御言葉デアリマシタカラ更ニ申上ゲナケレバナリマセヌタルト再ビ祕密會ニ入ルコトヲ御承知ノ上デ御説明ヲ願ヒマス、又元ニ戻ツテ内容論ニ入ラナケレバナラヌ、再ビ祕密會ハ必要トナルカモ知レマセヌ

○内田委員 サウスルト或ハ内容ニ週ルト再ビ祕密會ニ入ルコトヲ御承知ノ上デ御説明ヲ願ヒマス、又元ニ戻ツテ内容論ニ入ラナケレバナラヌ、再ビ祕密會ハ必要トナルカモ知レマセヌ

ノガ正シイノデアリマス、即チ合計十
二隻デアリマス、舊計畫九隻ノ中ニ六
年、七年ニ出來マス八隻ノ外ニ何ガ這
入ツテ居ルカト云フ御議論ガ生ズルト思
ヒマスガ、是ハ前年度ニ於テ竣工シタ
狹霧ノ一部分ノ工事ガ殘ツテ居リマス、
ソレヲ勘定ノ中ニ入レテアツタノデア
リマス、其點ガ明瞭ニナリマシタカラ
其點御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ潛水
艦ノ方ハ舊計畫ガ豫算明細書ニ舉ツテ居
リマスノガ五隻、舊計畫ガ四隻、新計
畫一隻ト申シマシタガ、ソレハ其通り
デゴザイマス、サウスルト二隻違フ譯
デアリマスガ、即チ工程表ノ上カラ申
シマシテ新計畫ガ三隻アルト云フコト
ニ對シテ、二隻ノ差ガゴザイマスガ、
二隻ハ豫算ニ關係ナク工事ニ著手スル
ト云フヤウナ豫定ガアリマスノデ、工
程表ニ現レタ數字ヲ前ニ御答シタノデ
アリマス、是等ノ點ハ未確定デアリマ
スガ、サウ云フ事情ガアリマスカラド
ウカサウ……

細書デ驅逐艦十二隻ノ分ガ豫算ガ取ッテアリマスガ、其中カラ製造中ノモノハ八隻ヲ引キマシタ殘リノ四隻ハ第一次補充計畫ニ屬スルモノデアリマスカ
○加藤政府委員 三隻ヲ引キマスルト
九隻殘リマス……
○内田委員 八隻ヲ引クト……
○加藤政府委員 八隻ヲ引クト四隻殘リマス八隻ガ工事中ノモノデアルト云フコトヲ大臣モ御述ベニナッテ居リマス、前年度ニ工事ヲ竣リマシタモノ、殘工事ト言ヒマスルカ、兵器ナドモマダ全部竣工シマセヌガ、六年度ニ於テサウ云フ兵器ナドヲ造ッテ居リマス、サウ云フモノ、經費ノ殘ツテ居ルノヲ一隻分トシテ計算シテ居ル譯デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス
○内田委員 ソレガイケナイ、若シ今ノ經理局長ノ御話ガ事實トスレバ、所謂海軍ノ「モラトリアム」デアリマス、此豫算面ニ驅逐艦十二隻分ガ昭和六年度ノ豫算ニ請求シテアル、サウシテ製造中ノモノハ何隻カト聽ケバ製造中ノモノハ八隻ナリト御答ニナッタ、然ラバ殘モノ四隻ハ今度ノ補充計畫ニ屬スペキモノデアル、其隱レタル一隻分ノ代金ダケヲ支拂ハナイデ、マダ製造中ト云フルコトハ、是ハ受取レナイ、然ラバ何故ニ先ツキ製造中ノモノハ何隻アルカト

尋ねタ時ニ八隻、更ニ一隻分代金未拂
ガアルト仰シャラナカツタカ、是ハ事實
ハ海軍ノ「モラトリアム」デアル、艦
ハ出來タガ支拂ヲ翌年ニ延バサレテ居
ル、其結果ガ茲ニ現ハレタモノデナイン
カト思フ、故ニ私ハ此驅逐艦十二隻ノ
中建造中ノモノ八隻ト云ヘバ殘リ四隻
ハ補充計畫ニナルト云フコトハ、此豫
算面カラ當然起ル所ノ結果デナイカ、
又結果デナケレバナラヌト思フ、若シ
製造中デヤナイ、出來上ツテシマツテ居ル
ノダト云フノデ、表ニシテ置イテ今製
造中ノモノハ八隻ヨリ外ナイト云フコ
トニナルト、今ノ一隻ハ竣工濟、斯ウ云
フ意味ニナルノデ、竣工濟デ代金ノ支
拂ヲシテナイ艦ガアル、斯ウ云フ意味
ニ解シテ宜シイノデアリマスカ

テ、サウシテ乗組員モ出來
ヲ積ンデ所謂「コンプリート」スルコ
トガ竣工デアル、此竣工ノ艦ガ何隻カ、
是ハ聽カナイノデ、目下製造中ノモノ
ハ何隻カト聽イテ居ルノデアル、製造
中ノモノハ何隻カト聽ケバ製造中ノモ
ノ八隻ト今モ海軍大臣ガ御答辯ニナッ
タ——サウスルト製造中ノモノハ九隻
アルノデアリマスカ、如何デアリマス
カ、何處マデガ竣工カ是ガ分ラナイト
云フ理窟ハアリマセヌ、各艦ノ竣工數
ハ必ズ此竣工表ニ載ルノデアリマス、
艦船表ニ載ルノデアリマス、製造中ノ
モノ八隻ト言ッタ海軍大臣ノ御答辯ハ
間違ツテ居ルノカ間違ツテ居ナイノカ
○安保國務大臣 今ノ代金ヲ拂フトカ
拂ハヌトカ云フ問題ニ付テノ御話デア
リマスガ、是ハ驅逐艦狭霧ノ問題ナノ
デアリマス、其狭霧ト云フノハ、大體
竣工致シテ、ソレニ彈薬其他兵器ノ尙
ホ積ムモノガアルノヲ、ソレヲスッカリ
積マナケレバ完成デナイト云ヘバ是ハ
御説ノ通リデアリマスガ、ソコニ大體
竣工……

○内田委員 完成ト云フコトニ付テ大體ダトカ何ダトカ、二ツ意味ガアルヤウニ御答デアリマスガ、日本ニ於テハ魚雷豫備トカ彈薬ト云フモノハ完成ノ中ニ入ッテ居ル、英國デハ彈薬ナドハ製造費ニ於テ支辨スベキモノヲ全部揃ヘタ時ガ竣工ナノデアリマス、故ニ、ソレガ朝霧ダカ狹霧ダカ知ラナイガ、ソレマデ入レルト云フノナラバ、何故ニ先程八隻ト言ヒ此答辯ノ驅逐艦ガ一隻達ツテ居ルコトニ付テ、政府委員室ニ歸ツテ何トカ胡麻化サウト云フノデ狹霧カ何カガ出テ來タ、是ハ海軍省カラ頂戴シタ極祕ニ屬スル艦艇製造工程表ニチャント八隻ト書イテアル、是ハ私徳義上讀上ゲマセヌガ、チャント出テ居ル、故ニ驅逐艦八隻製造中デ、十二隻ノ豫算ヲ取ツテ居レバ、殘リ四隻ハ第一次補充計畫ニ屬スルモノデアルコトハ明カデアル、ソコヘ隠レタ製造中ノモノガモウ一隻出テ來ル筈ハナイ、然ラバ製造中ガ八隻ト云フアノ御答辯ハ御取消ニナルト共ニ、更ニ先程讀上ゲタ豫定表中ニ舊計畫デ以テ驅逐艦八隻ト云フコトヲ讀上ゲマシタガ、アレヲ御訂正ニナラナケレバ困ル、モウ一隻殖ヤサナケレバナラヌ——是ハ新艦船維持費ハモウ取ツテ居リマスルカ否ヤ、

○内田委員 完成ト云フコトニ付テ大體ダトカ何ダトカ、二ツ意味ガアルヤウニ御答デアリマスガ、日本ニ於テハ魚雷豫備トカ彈薬ト云フモノハ完成ノ中ニ入ッテ居ル、英國デハ彈薬ナドハ製造費ニ於テ支辨スベキモノヲ全部揃ヘタ時ガ竣工ナノデアリマス、故ニ、ソレガ朝霧ダカ狹霧ダカ知ラナイガ、ソレマデ入レルト云フノナラバ、何故ニ先程八隻ト言ヒ此答辯ノ驅逐艦ガ一隻達ツテ居ルコトニ付テ、政府委員室ニ歸ツテ何トカ胡麻化サウト云フノデ狹霧カ何カガ出テ來タ、是ハ海軍省カラ頂戴シタ極祕ニ屬スル艦艇製造工程表ニチャント八隻ト書イテアル、是ハ私徳義上讀上ゲマセヌガ、チャント出テ居ル、故ニ驅逐艦八隻製造中デ、十二隻ノ豫算ヲ取ツテ居レバ、殘リ四隻ハ第一次補充計畫ニ屬スルモノデアルコトハ明カデアル、ソコヘ隠レタ製造中ノモノガモウ一隻出テ來ル筈ハナイ、然ラバ製造中ガ八隻ト云フアノ御答辯ハ御取消ニナルト共ニ、更ニ先程讀上ゲタ豫定表中ニ舊計畫デ以テ驅逐艦八隻ト云フコトヲ讀上ゲマシタガ、アレヲ御訂正ニナラナケレバ困ル、モウ一隻殖ヤサナケレバナラヌ——是ハ新艦船維持費ハモウ取ツテ居リマスルカ否ヤ、

○内田委員 ソレヲ御伺ヒ致シマス

○加藤政府委員 先程八隻ト申シマシテ竣工シタト言フコトハ、即チ初メノ竣工シタト言フコトハ、斯ウ云ヘタ時ガ竣工ナノデアリマス、故ニ、ソレガ朝霧ダカ狹霧ダカ知ラナイガ、ソレマデ入レルト云フノナラバ、何故ニ先程八隻ト言ヒ此答辯ノ驅逐艦ガ一隻達ツテ居ルコトニ付テ、政府委員室ニ歸ツテ何トカ胡麻化サウト云フノデ狹霧カ何カガ出テ來タ、是ハ海軍省カラ頂戴シタ極祕ニ屬スル艦艇製造工程表ニチャント八隻ト書イテアル、是ハ私徳義上讀上ゲマセヌガ、チャント出テ居ル、故ニ驅逐艦八隻製造中デ、十二隻ノ豫算ヲ取ツテ居レバ、殘リ四隻ハ第一次補充計畫ニ屬スルモノデアルコトハ明カデアル、ソコヘ隠レタ製造中ノモノガモウ一隻出テ來ル筈ハナイ、然ラバ製造中ガ八隻ト云フアノ御答辯ハ御取消ニナルト共ニ、更ニ先程讀上ゲタ豫定表中ニ舊計畫デ以テ驅逐艦八隻ト云フコトヲ讀上ゲマシタガ、アレヲ御訂正ニナラナケレバ困ル、モウ一隻殖ヤサナケレバナラヌ——是ハ新艦船維持費ハモウ取ツテ居リマスルカ否ヤ、

○内田委員 フ事ニ訂正致シマス、其方ガハツキリセヌ

○内田委員 新艦船維持費ガ取ツテナケレバ製造中ノ艦ガ八隻ト云ツタノガ今九隻ニ殖エテ來タ、又殖エテ來タ、サウスルト先刻來安保海軍大臣ハ本表ヲ作成スルニ當ツテハ新艦船維持費ヲ計算スル基礎ニ於テ私ハ申上ゲテ居リマシテ、其通リデ宜シウゴザイマスコトガ本當デアル、斯ウ云フ説明デアリマシテ、其通リデ宜シウゴザイマス

○内田委員 サスレバ新艦船維持費ノ計算ニ於テ驅逐艦——舊計畫ニ基ク驅逐艦八隻ナリトノ御報告ハ九隻ノ誤ナリト御訂正ニナリマスカ否ヤ、海軍大臣ノ明答ヲ得タイ

○安保國務大臣 御話ノ通リデアリマス、訂正致シマス

○内田委員 御訂正ニナレバ敢テ此點ニ付テ追究ハ致シマセヌ、更ニ潛水艦ニ於テ此豫算細目ト昭和六年度ノ豫算各目明細ト、御示シノ豫定表ト、第一次補充計畫ノ豫定表ト、著手ニ於テ二隻相違スルト云フ數字ノ違ヒハ認メルヤ否ヤ、端的ニ大臣ヨリ御答辯ヲ願ヒタイ

○内田委員 オ内田委員 豫算各目ノ明細ニハ一隻分シカ書イテナクテ、豫定表ニハ二艘ノシカ書イテナクテ、豫定表ニハ二艘ノ相違ヲ來シテ居ル

○内田委員 オ内田委員 豫算各目ノ明細ニハ一隻ノハ、部内註文モ、部外註文モ總テ其數字ヲ一緒ニ舉ゲテ居リマスルノデ、

○内田委員 オ内田委員 は御承知ノ通リ此豫算ト云フ上カラ

○内田委員 一艘ニナツテ居リマスルケレドモ、三

○内田委員 完成ト云フコトニ付テ大

○内田委員 ソレヲ御伺ヒ致シマス

○内田委員 タノハ、廣イ意味ニ於テ竣工ト云フ意

○内田委員 用ト云フコトデ、相當ノ金ガアル、又

○内田委員 六年度ニ於テ支出スルト云フ意味ニナツ

○内田委員 テ居ル爲ニ、本年ノ竣工ト云フ中ニハ

○内田委員 這入ラナイト云フナラバ、其方ガ本當

○内田委員 デアリマス、隨テ今政府委員カラ、其事ヲ、竣工セズニ九隻残ツテ居ルト云フコトガ本當デアル、斯ウ云フ説明デアリマシテ、其通リデ宜シウゴザイマス

○内田委員 モ何デモ宜イガ、改メテ申上ゲマスト

○内田委員 ウ云フ意味ノコトハ先程申上ゲマシタ

○内田委員 通リデアリマス

○内田委員 ソレハ達ヒマス、潛水艦

○内田委員 ヲ外ヘ註文云々デヤナイ、祕密會議中

○内田委員 論議シタ各目明細ニハ潛水艦ハ一隻ホ

○内田委員 モ宣イ、一隻デス、然ルニアノ祕密會

○内田委員 中ノ豫定表ト、著手ニ於テ二艘ノ相違ヲ來シ、完了期ガ多少違フト云フコト

○内田委員 ハ、先々ノコトデアルカラ、狂ヒヲ生

○内田委員 フルト云フコトハ言ヘルケレドモ、昭

○内田委員 和六年度ノ豫算ニ潛水艦ガ一艘シカ舉

○内田委員 ゲテ居ナイデ、今度ノ豫定表ニ於テ二

○内田委員 艇相違スルト云フ數字ノ違ヒハ認メル

○内田委員 ャ否ヤ、端的ニ大臣ヨリ御答辯ヲ願ヒ

○内田委員 タイ

○内田委員 オ内田委員 其數字ノ違ツタ所以ハ——違ハナイノデアリマス、三艘著

○内田委員 手スルノデアリマス、其違ハナイ所以

○内田委員 ヲ先程カラ政府委員ヨリ御説明申シタ

○内田委員 ノデアリマス

○内田委員 オ内田委員 豊算各目ノ明細ニハ一隻

○内田委員 分シカ書イテナクテ、豫定表ニハ二艘ノ

○内田委員 シカ書イテナクテ、豫定表ニハ二艘ノ

○内田委員 相違ヲ來シテ居ル

○内田委員 オ内田委員 是ニズットアリマス

○内田委員 ノハ、部内註文モ、部外註文モ總テ其

○内田委員 數字ヲ一緒ニ舉ゲテ居リマスルノデ、

○内田委員 是ハ御承知ノ通リ此豫算ト云フ上カラ

○内田委員 一艘ニナツテ居リマスルケレドモ、三

艘ヲ著手スルト云フ豫定ニ致シテ居ル
次第デアリマスカラ、左様御承知願ヒ
マス

○内田委員 ソレハ豫算ガナクテ部外
ヘ註文スルモノハ只デ診文ガ出來マス
カ、部外ヘ註文スルコソ餘計ナ手付ガ
要ル、元ハ四割拂タモノガ今ハ二割、
川崎造船所デモ三菱デモ藤永田デモ何
處デモ、表面ノ數ハ豫算ニ於テ一船ホ
カ取ッテナクテ——是ハ豫算外ノ國庫
負擔ノ増加トカ何トカムヅカシイコト
デ大口君ノ繩張ニナリマスケレドモ、
ソコデ以テ一ツ疑義ヲ生ジテ來ル、金
ヲ支拂ハナクテモ宜イ、ソコニ疑義ヲ
生ズル、豫算ニナイ潛水艦ヲ部外註文
デ二艘御建造ナサル思召デアリマスカ
否ヤ

○安保國務大臣 今申上ゲマシタヤウ
ニ、今日申上ゲマシタノニ付テハ、其
場合ニドウシテモ註文ガ出來ナイトス
レバソレハ延バスヨリ仕方ガナカラウ
ト思ヒマス、是ハ先程申上ゲマシタ線
表ニ付テノ大體ノ豫定ヲ申上ゲマシタ
ノデ、ソレヲ詳シク申シマスルト——
他ノ方面ニ入りマスルガ、一艘ホカ豫
算ガナイケレドモ、線表ニハ三艘著手
スルヤウニナツテ居ルコトガイカヌ、斯
ウ云フコトヲ仰シャイマスケレドモ、
是ハサウ云フ意味デアリマス

○内田委員 ソレハ滅茶苦茶ダ、豫算
ハ一艘ホカ昭和六年度ニ於テ取ッテナ
ハ、豫定表デハソレヨリ二艘餘計拂
カ部外ヘ註文スル、豫算ノナイモノ
ヲ海軍大臣ガヤル權能ガアリマスカ否
ヤソレヲ伺ヒタイ、權能ノナイモノヲ
豫定表ニ現ハシテ吾々ニ祕密會デ示ス
ト云フコトハ、是ハ吾々ヲ欺瞞スルモ
ノデアルト言ハナケレバナラヌ、殊ニ
經理局長ハ潛水艦ノ二艘ハ違ッテ居リ
マシタト先刻承認シテシマツタ、ソレヲ
サウ仰シャレバ是ハ豫算ノ問題ニ絶シ
デ重大ナル問題ニナツテ來ル

○安保國務大臣 先程申上ゲマシタ此
線表カラズツ割出シテノコトハ主トシ
テ竣工ノ期限ニ付テ維持費ノ關係ニ付
テ申上ゲマシタノデアッテ、之ヲ著手ス
ル時ニ付テノ御尋デアリマシタカラ、
茲ニ線表ニ豫定シテアル所ノ先程申シ
マシタヤウニ三艘ト云フコトデアリマ
シタヤウニシテ、イツ著手シテ、イツ竣工ヲ
居リマスケレドモ、新艦船維持費ノ上
カラ言フテ、イツ著手シテ、イツ竣工ヲ
ソレハ新艦船維持ノ爲ニ私ハ質問シテ
スルカト云フコトヲ聞イテ居リマス、
然ルニ昭和六年度カラ著手スル、斯ウ
御言明ニナツタ、ソレガ數年先ノコトナ
ラバ兎モ角、目ノアタリ昭和六年度ニ
三艘著手スルト云フツテ、而シテ今豫算ノ
上ニ於テハ一隻ノ製造費シカ取ッテナ
イ、二艘造ツテ、是ハ他ヘ註文スル積リ
豫算ニデモ然ラバ御請求ニナル積リデ
シタ、ソレデ以テ帝國議會ガ通レル
ト思ツタラ是ハ大間違デアル、是ハ追加
方法ヲ執ラナケレバナラヌト思ヒマ
ユニ此線表ノ上カラ申シマシタノハ大

○内田委員 是ハ問題ニナラヌ、海軍
體ノ豫定ト云フコトヲ申上ゲマシタノ
デス、是ガ豫算ノ上ニ現ハレマシタノ
ト、ソコニ若干ノ違ヒガアル、サウ云
フ場合ハアラウト云フコトヲ先程申上
ゲテ居リマス、サウシテ今部外ニト云
フヤウナ意味ノコトヲ申上ゲマシタノ
ハ、是ハ本當ノ内部ノ事柄ヲ申上ゲマ
シタノデアッテ、ソレガイケナケレバソ
レヲ取消シマス、サウシテ一艘ホカ豫
算ガナイカラ、一艘ホカ著手セヌト云
フ意味ノコトニ御取り下サツテ宜シウ
ゴザイマス、改メマス

○内田委員 ソレデハ私ハ、其失言ダ
トカ——馬鹿トカ阿呆トカ云ツタコトヲ
取消スト云フノナラバ或ハ取消シデ濟
ミマスケレドモ、此海軍ノ今後ノ計畫ニ
付テ眞面目ニ審議シテ、而シテ先刻モ御
話申上ゲマシタ通リ吾々ハ全ク他人カ
ラ何等ノ助太刀モナク、自分一人デ、而
モ表ヲ手ニシテ一時間デ調べ上ゲテ質
問シテ是ダケノ違ヒガ出テ居ルノデア
ル、海軍省ニ於カレテハ艦政本部其他
相當ノ機關ヲ有シテ居ル、而シテ海軍
大臣其他局長ノ各方々ガ揃ツテ四日目ニ
御提出ニナツタ、蓋シ此四日目ニ御提出
ナサツタコトモ私ハ不服デアリマス、コ
ンナモノハ常ニ出來テ居ラナケレバナ
ラヌ、併シソレモ許ス、許スガ漸ク拂
ヘ上ゲテ、而モ是ハ祕密會ダト云フノ
ニ至ツテハ、真ニ嘘デモ何デモ宜イト云
フ御報告ナラバ何モ祕密會ニスル必要

ガナイ、特ニ祕密會ヲ海軍大臣ガ要求
サレタ意味ハ此豫定表ト云フモノハ好
イ加減ナモノデハナイ、十分信憑シ得
ベキ豫定表デアルガ故ニ、私ハ祕密會
ヲ要求サレタモノト思ヒマス、祕密會
ヲ要求スルマデニ重大ニ考ヘラレテ、
而モ昭和六年度デスヨ、直キ來ルノデ
スヨ、アト二月經テバ……此昭和六年
度ニ著手スル潛水艦ノ數ト、而シテ昭
和六年度ノ豫算要求額トニ於テ二隻ノ
潛水艦ノ相違ヲ來シテ、更ニ驅逐艦ニ
於テ一隻ノ相違ヲ來シ、其驅逐艦一隻
ハ製造中ノモノヲ間違ヘタト云フナラ
バ、間違デ其方ハ宜シイト致シマシテ
モ、併シナガラ私ノ目的タル新艦船維
持費ノ要求額ヲマダ取ッテ居ラナイ艦
ガ即チ今回モウ一隻新タニ現ハレテ來
タ、製造中ノモノガ現ハレテ來タ、斯
ウ云フコトニナリマスルガ故ニ、驅逐
艦一隻潛水艦二隻ハ茲ニ數字上相違ヲ
御認メ下サイマスカ

○安保國務大臣 數字ノ上ニ、ソコニ
達ツテ現ハレタト云フコトニ付キマシ
テハ、ソレハ其通リデ宜シウゴザイマ
ス、竣工ノ方ノ意味ダケノ點ニ付テハ
間違ツテ居リマセヌ、著手ハ間違ツテ居
リマシタト御認メニナッテ宜シウゴザ
イマス

○内田委員 率直ニサウ御話ニナレバ
言ヒタイコトガアリマシテモ私ノ性分
トシテソコヲ言フコトヲ止メマシテ、
鬼ニ角ニ率直ニ達ツテ居ルト云フコト
ガ明カニナリマシタガ、實ハ斯ウ云フ
コトガ私ハ氣ニナッテナラナイノデスガ、
昭和六年度デサヘモ斯ウ達ツテ居ルノ
デハ先キ……昭和十一年度ニ至ルマデ
ノ繼續費ト、而シテ今回祕密會ニ御提
出ニナツタ豫定表トハ必ズヤ合ハナイ
モノダト、是ハ斷定シナケレバナラナ
イ、昭和六年度サヘ三隻モ達ツテ居レ
バ九年度、十年度、十一年度ニ至ツテ
ドンナニ豫算概算ト喰違ヒガ來ルカト
思フ、ソコデ私ハ御伺ヒスル、即チ此
居リマスケレドモ、契約ノ方法ハドウ
デモナラウト思フノデアリマス、必ズ
ヒデ契約ノ時ニハ幾ラトシテ契約シテ
居リマスケレドモ、契約ノ方法ハドウ
シモ前金拂ラシナケレバイケナイト云
フコトデアレバ、サウ云フコトモアル
カモ知レヌ、サウ云フコトガアリ得ル
カモ知レヌト云フ状態ニアルノデアリ
マスカラ、ソレハ其時ニ致シマスガ、
其時ニナリマセヌト確定的デハゴザイ
マセヌ、ソレカラ艦船ノ建造費ノ將來
ニ五ル年度ニ對シテノ巡洋艦幾ラ驅逐
艦幾ラ、ドウ云フ風ニナッテ居ルカト
云フコトハ年度別ニ致シマシタ表ハマ
ダ出來テ居リマセヌト思ヒマス、全體
ニ對シテハ出來テ居リマスケレドモ、
諒承ヲ願ヒマス

○加藤政府委員 色々細カイ點ニ付テ
御尋デアリマスガ實ハ先程ノ問題デア
リマスガ、潛水艦ノ問題ニ致シマシテ
モ、豫算ヲ六年度ニハ見テ居ナイ、併
ナガラ艦艇建造費ト致シマシテハ豫算
ヲ盛ツテ居ル譯デアリマス、後年度ニ
ス其年度ニ著手致シマシテモ、其年度
ノ經費ヲ直チニ著手致シマシタ艦ニ當
テル場合モアリマスシ、又ソレナクシ

テ工事ニ著手スル場合モアルノデアリ
マス、ソレハ正シイ方法デナイト云フ
トシテソコヲ言フコトヲ止メマシテ、
鬼ニ角ニ率直ニ達ツテ居ルト云フコト
ガ明カニナリマシタガ、實ハ斯ウ云フ
コトガ私ハ氣ニナッテナラナイノデスガ、
昭和六年度デサヘモ斯ウ達ツテ居ルノ
デハ先キ……昭和十一年度ニ至ルマデ
ノ繼續費ト、而シテ今回祕密會ニ御提
出ニナツタ豫定表トハ必ズヤ合ハナイ
モノダト、是ハ斷定シナケレバナラナ
イ、昭和六年度サヘ三隻モ達ツテ居レ
バ九年度、十年度、十一年度ニ至ツテ
ドンナニ豫算概算ト喰違ヒガ來ルカト
思フ、ソコデ私ハ御伺ヒスル、即チ此
居リマスケレドモ、契約ノ方法ハドウ
シモ前金拂ラシナケレバイケナイト云
フコトデアレバ、サウ云フコトモアル
カモ知レヌ、サウ云フコトガアリ得ル
カモ知レヌト云フ状態ニアルノデアリ
マスカラ、ソレハ其時ニ致シマスガ、
其時ニナリマセヌト確定的デハゴザイ
マセヌ、ソレカラ艦船ノ建造費ノ將來
ニ五ル年度ニ對シテノ巡洋艦幾ラ驅逐
艦幾ラ、ドウ云フ風ニナッテ居ルカト
云フコトハ年度別ニ致シマシタ表ハマ
ダ出來テ居リマセヌト思ヒマス、全體
ニ對シテハ出來テ居リマスケレドモ、
諒承ヲ願ヒマス

○内田委員 ソレハ三菱ヘデモ註文ス
ル時ニハ前金ハナクテモ濟ムカモ知レ
マセヌ、併ナガラ一萬噸ナラバ三千萬圓
モ掛リマス、八千五百噸ナラバ二千五六

百萬圓掛ル、驅逐艦トシテモ五六百萬
圓掛リマスノデ、前金ヲ與ヘナイノデ
ト思フ、サウ云フコトヲスレバ三菱ダ
ケ繁昌スルトスウ云フコトニナル、三
菱造船所ハ、ソレハ前金ナシニ引受ケ
ルカモ知レナイガ、此金ヲ後拂ニスル
ト云フ此主義カラ言フト諸造船所ハ皆
ナ倒レル、川崎造船所ノ如キ一旦救濟
シテモ今回ハ又再ビ破綻ニ瀕シテ居ル、
佛造ツテ魂ヲ入レズト云フ譯デ、遂ニ三
菱ダケノ造船界ニナツテシマフ、ソレナ
ラバ藤永田ノ如キ一昨年加藤經理局長
モ非常ニ御苦心ナサツテ御救濟ニナツタ、
川崎造船所モ御救濟ニナツタ、私ハ加藤
經理局長ト共ニ又當時ノ山梨艦政本部
長等ト共ニ行ツテ此造船界ノ爲ニ、海軍
ハ之ヲ救フ必要ガアルト云フノデ、藤永
田ノ如キハ潰シテシマヘト云フコトモア
タケレドモ、私ハ驅逐艦ニ於テ海軍ニ
貢獻シタ此藤永田ヲ是非救ハナケレバ
ナラナイ、アレハ取ツテ置カナケレバナラ
ヌト云フノデ、是ハ省議ヲ開イテ、ソレ
デ以テアノ救濟ヲシタ、所ガ、之ニ向ツテ
一文モ拂ハズニ艦ヲ拵ヘルト云フコト
ニナレバ、三菱、三井ハ——三井ハ造船
ハ小サイケレドモ要スルニ三菱ノ造船
ニナツテ、他ノ造船所ハ註文ヲ受ケタク
テモ前金ガ取レナイ爲ニ受ケラレナイ

言明シテ置キマス、仍テ私ハ海軍省ニ

於テ前拂金ヲ一割ヤルカ、二割ヤルカ、

四割ヤルカト云フコトハ別個ノ問題ト

致シマシテ、少クトモ豫算ヲ、繼續費ト

シテ五千四百萬圓宛取テ居ル以上ハ、

建前トシテ——特ニ申上ゲマスガ、建

前トシテ原則ノ上ニ於テ、此五千四百

萬圓ノ繼續費ハ、今回御説明ニナッタ第

一次補充計畫ノ豫定表ト相對照シテ、

昭和七年度ノ五千四百萬圓ハ巡洋艦一

隻デ幾ラ、二隻デ幾ラト、ドウ云フ風

ニ割當テラレルカト云フコトヲ只今御

伺ヒ致シタノデアリマスガソレガ出來

テ居リマセヌカ

○加藤政府委員 一隻幾ラデアルカト

云フコトハ分ツテ居リマス、併シソレハ

六年度ニ幾ラ、七年度ニ幾ラ、八年度

ニ幾ラト云フコトハ、今確定的ノ數字

ハ此所ニ持合セテ居リマセヌガ、多分

出來テ居リマスマイト思ヒマス

○内田委員 ソレデハ私ハ昭和六年

度ノ分ニ於テ、斯ノ如キ、只今ノヤ

ウナ誤算ガナケレバ稍々安心シテ居

タンデスガ、昭和六年度ノ各自明細書

マデ作フテ、ソレト今回ノ第一次補充計

畫ノ豫定表ノ金額ト頃數ニ於テ相違ヲ

來シテ來ル以上ハ、前途ニ對シテ頗ル

不安ノ念ガアルノデアリマスルガ故

ニ、此昭和十一年度ニ於ケル繼續費ノ

各款ニ對シテノ割振ノ建前、昭和十一

年度マデノ繼續費ノ割振り、之ニ付テ

至急御調査下サイ、是ハ建前デ宜シウ

ゴザイマスカラ、一々之ヲ何割ト云フ

コトハ、是ハ民間ニ註文シタラ何割ダ

ラウト云フコトハ、想像ニ依テ出來マ

スカラ、建前トシテ斯ウ云フ譯デ、五

千四百萬圓デ此豫定表ニ依ツテチヤン

ト合ツテ行ク、「ミート」シテ行クノダ

ト云フコトニ付テ建前的デ宜シウゴザ

イマスカラ至急御取調アランコトヲ望

ムノデアリマス

○加藤政府委員 只今ノ御要求デアリ

マスガ、御承知ノ通リ只今ノ造船界ハ非

常ナ惡戰苦鬪ノ時代ト言ウテ宜シイト

思ヒマス、海軍ノ工廠ニ於キマシテモ

非常ニ職工等ノ數ニ影響ガアリマス、

是等ノ工業能力ト申シマスカ、其工業

力ノ餘裕等ニ付テ將來ノ見極メヲ付ケ

ナケレバナリマセヌ、サウ云フ事情ガ

アリマス、只今豫定ト云フ御話デアリ

リマシタガ、此前ノ時ニモ申シマシタ

ヤウニ、本當ノ確實ナ線表ハマダ十分

ニ出来テ居リマセヌト云フコトヲ申シ

ヲ海軍大臣ニ要求スル

○安保國務大臣 内田サンノ御話ガア

リマシタガ、此前ノ時ニモ申シマシタ

ヤウニ、本當ノ確實ナ線表ハマダ十分

ニ出来テ居リマセヌト云フコトヲ申シ

タノデアリマシテ、大體ノ出來テ居ル

モノニ依リマシテ今日御説明ヲ申シ上

スウ云フコトヲ申シタノデアリマス

○内田委員 ソレデハ豫算ノ根據ガナ

クナツテシマフ、今度ノ三億七千四百

萬圓ノ補充計畫ノ中、艦船建造補充ニ

關スル分ガ二億四千七百八萬圓、是ガ

昭和六年度ニ於テ五百七十萬圓、昭和八年度

ガ三千五百四十萬圓、昭和九年度ガ

五千四百五十萬圓、十年度ガ五千五百

四十九萬圓、十一年度ガ五千五百四十

ト云フ細カイ數字ヲ舉ゲテ、繼續費ガ出

ラ、驅逐艦幾ラト決ツテ居リマス、其

單價ガ分ツテ居ツテ、ドノ船ガ何時起工

ニ著手シテ、何時竣工スル豫定デアルト

云フコトハ先刻御話ニナツテ居ル、ソレ

ニ依ツテ支出スベキ金ト豫算面ニ現レ

タ繼續費ガ、大體ニ於テ合ハナケレバ

ナラヌ、ソレガ合ハナイカモ知レナイ

カラ、又合ハナイデ叱ラレルトイケナ

イカラ出サナイト云フコトデアツテハ、

リタイ

繼續費ガ無意味デアルト云フコトノ立

證ニナツテ來ル、故ニ少クトモ此豫定表

ノ金額ト頃數トガ合ツテ來ルモノト思

ヒマスカラ、是非共御提出アランコト

ヲ海軍大臣ニ要求スル

○安保國務大臣 五千四百萬圓ヲ以

テ——御承知ノ通リ今マデ八千八百萬

圓アツタ所ヲ、五千四百萬圓位ノ見當

デヤルト云フコトニ致シマシタノハ、

ソレニ依ツテ此度ノ補充計畫、工業能

力等ヲ調節シテ適當ニヤリ得ルト云フ

考ヲ以テヤツタノデアルガ、愈々ソレヲ

實際ニ當嵌メテヤルト云フコトハ、線

表モ確實ニ出來テ居リマセヌカラト、

ソレニ依ツテ此度ノ補充計畫、工業能

力等ヲ調節シテ適當ニヤリ得ルト云フ

考ヲ以テヤツタノデアルガ、愈々ソレヲ

實際ニ當嵌メテヤルト云フコトハ、線

デアリマス

○内田委員 ソレデハ海軍大臣ニ御伺

致シマスガ、昭和十一年度マデノ繼續

費ガ大體五千四百萬圓繫ツテ居ルガ、ソ

レデ第一次補充計畫ハ確立シテ居ルト

云フ理由ハ何處ニアルカ、アノ繼續費

ニ向ツテ、海軍大臣ハドウ云フ信念ヲ

持ツテ御同意ニナッタカト云フコトヲ承

リタイ

來テ居ル、是ハ閣議ニ於テ御同意ニナッテ茲ニ御提出ニナッタ以上、而シテ祕密會マデ開イテ、サウシテ今度ノ第一次補充計畫ノ各艦船ハ何時起工ニ著手シ、何時竣工スル豫定デアル——ソレハ多少ノ食違ハ私モ認メルガ、併ナガラ細カイ事ヲ祕密會マデ開イテ海軍大臣ガ豫定ヲ讀上ゲタ以上、此繼續費トソレガ合ハナイ理窟ハ一ツモナイ、固ヨリソレガ三十萬圓、五十萬圓、百萬圓達ツタ所デソンナ事ヲ私ハブレーク言フノデハアリマセヌ、例ヘバ五千四百萬圓ノ中デ二百萬圓ヤ三百萬圓食違ガ出來テモ、ソレハ民間ニ支拂フモノヨ一寸延シテ貴フトカ、或ハ行政ノ實際ニ方ツテ其時考慮スベキモノデアルコトハ私モ亦承知シテ居リマス、併ナガラ此繼續費ノ艦船豫定表ヲ讀上ゲテ、是ガドウ云フ風ニ大體嵌マルカト云フコトヲ御説明ナサルコトハ、海軍大臣ノ御責任デアラウト思ヒマス、私ハ五分ヤ三分達ツタ所デ決シテ文句ヲ言ハヌト云フコトヲ豫メ申上ゲテ置キマス、而シテ大體此巡洋艦ニ對シテ昭和四年度ハ幾ラ拂ツテ、驅逐艦ニ對シテハ幾ラ拂ツテ、サウシテ五千四百萬圓ガ「バー」トナルト云フヤウナ御説明ハ、國民ニ對スル責任者トシテ當然ナサラナケレバナラヌ事デアリマス、二億四千萬圓ノ金ヲドウ使フカ知ラヌ

ト云フ譯ニハ行カヌ、之ニ對シテ御說明ヲ願ヒマス
○安保國務大臣 御答致シマスガ今モ申上グマシタヤウニ本當ニ正確ナ線表ト云フモノハ出來テ居リマセヌ、隨テドウ云フ艦ニ何處デ幾ラ掛ルト云フ極ク細カイ事ヲ茲ニ今申上グル譯ニハ參リマセヌ、マダ御覽ニ入レル譯ニ行カヌト云フノデアリマシテ、大體ニ於キマシテ先程申上グマシタヤウナ趣意ニ依ツテ造船ヲ進メテ行ク、サウシテ其経費ト工業能力ヲ調節シテ、最モ適當ノ依リマシテ又動クコトモ生ジ得ルノス、唯竣工年度ハ何年度ト云フコトハハ大體キマリマシタガ、各年度ノ其狀況ニ依リマシテ又動クコトモ生ジ得ルノハ大凡ノ目安ハ付イテ居リマセウ、併シ是ハ如何デアリマセウカ、之ヲ部外ニ發表致シマスコトハ今ハ出來マセヌト思ヒマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○内田委員 先刻各艦ガ何時出來ルカト云フ豫定表ヲ祕密會ニ於テ御説明ニナツタガ、其豫定表ニ伴フテ各年割ニ、巡洋艦ニ幾ラ拂ヒ、驅逐艦ニ幾ラ拂フト云フ次第デアリマスノデ、今ソレヲドウ云フ風ニシテ御覽ニ入レルト云フコトニハ參リ兼ネルト云フコトハ説明ガ出來ナイ、ソンナ馬鹿ナ事ガ何處ノ國ニアリマスカ、各艦ガ何時出來ルカ、出來ナイカト云フコトコソ祕密ト云フナラマダ宜イケレドモ、其方ハ祕密會デ言ヘルガ、支拂金額ノ方ハ言ヘナイト云フコトハ、經理局長餘リニ其場限リノ胡麻化シノ答辯鑽ニ於テ海軍大臣ハ目下如何ナル考ヲ有シテ居リマスカ

○安保國務大臣 大體ニ於テ先程申上ト先刻御説明ノ艦艇竣工豫定表トノ連鎖ニシテ居リマスカ

○内田委員 然ラバ此繼續費ノ年割額トコソ祕密ト云フナラマダ宜イケレドモ、其方ハ祕密會デ言ヘルガ、支拂金額ノ方ハ言ヘナイト云フコトハ、經理局長餘リニ其場限リノ胡麻化シノ答辯鑽ニ於テ海軍大臣ハ目下如何ナル考ヲ有シテ居リマスカ

○内田委員 是ハ奇怪ナル御答辯、全ク素人驅シノ御答辯デアル、今ノ經理局長ノ御答辯ハドノ艦ヲ部外ヘ註文スルカ、ドノ艦ヲ工廠デ拵ヘルカ分ラナカラ、ドノ艦ヲ工廠デ拵ヘルカ分ラナカラ、隨テ各年度割ノ支出額ガ分ラナイト仰シャルケレドモ、コンナ馬鹿ナ答辯ハナイ、實際上註文スル時ニ當テハ、工廠デ造上ゲタ時ト註文價格トナイト仰シャルケレドモ、コンナ馬鹿ナ答辯ハナイ、實際上註文スル時ニ當テハ、工廠デ造上ゲタ時ト註文價格トハ相違ガアルコトハアリマスガ、豫算面ニ於テハ巡洋艦一噸幾ラ、驅逐艦一噸幾ラト云フコトハ、無論註文モ工廠製造モ區別ハ置イテナイ、一律ニ豫算ハ國家ニ向ツテ請求シテ居ル、サウシテ帝國議會ニ出テ居ル、部外ニ屬スル分ハ單價幾ラ、工廠製造ハ幾ラト定メテアリハシナイ、故ニ是ハ工廠デ拵ヘテ拂フ金モ、民間註文デ支拂フ金モ、事

實ニ於テ更ニ豫定ニ於テハ相違ガアルベキ筈ハナイ、故ニ民間註文ト工廠製造ノ率ガ判明シナクテモ、各艦ニ對シテ支拂フ金額ニ相違ノアルベキ筈ハナリ、固ヨリ御斷リシテ置クガ、民間ニヤル時ト工廠デ造ル時トハ支拂ノ條件ガ違フ、民間ノハ前拂デアル、工廠デ造ル時ハ、材料貨ダケデ著手ガ出來ル、サウ云フ細カイ點ニ於テハ相違ヲ致シマスガ、私ハ此大體ノ建前ニ於テ、是ガ全部工廠デ造ルモノトシテモ宜シイ、若クハ從來ノ建前ノヤウニ半分工廠デ造フテ半分民間ニ出ストシテモ宜シイ、其建前ハアナタノ方ノ御選擇ニ委セル算盤ノ取リ易イヤウニ總テ工廠デ造ルトシテモ構ハナイ、ソレデ豫定表ノ各艦ニ對スル分ヲ御示アランコトヲ望ムノデアリマス。

○加藤政府委員 重ネテノ御要求デアリマスケレドモ、只今巡洋艦ニ七年度ニ於テ幾許ヲ當テ、居ル、八年度ニ於テ幾許ヲ當テ、居ルト云フ、斯ウ云フ豫定ヲ豫算要求ノ基礎トシテ作ツテゴザイマス、併ナガラソレハ今日ニ於キマシテ、七年度ニ於テ巡洋艦ニ是ダケノ金ヲ振向ケルト云フコトガ、或ハ驅逐艦ノ方ヲ先ニ造ラナケレバナラヌト云フヤウナコトカラ致シマシテ、驅逐艦ノ方ニ廻スカモ知レヌ、サウ云フヤウ

ナ變化ガ將來ニ於テ起キマスカラ、總テ豫定デ申上ゲテ居リマス、先程差上ダマシタノモ總テ豫定デアリマスガ、ソレデアリマスカラ只今之ヲ申上グルコトハ實際上ニ於テ非常ニ困難ダト思ヒマスカラ、其點ハ御諒承ヲ願ヒタイト云フコトヲ先刻カラ申上ゲテ居ルノデアリマス。

○内田委員 故ニ私ハ豫定表ヲ請求シテ居ル、實際ト豫定ト合理的ニ違ツテ來ルコトハ是ハドウモ世ノ中ダカラ仕方ガナイ、地震モアレバ雷モ落チル、變化ガアルノハ仕方ガナイ、併ナガラ繼續費ヲ是ダケデ満足シテ居ルト云フ以上ハ、此艦船製造ノ豫定表ヲ讀上ゲタノデアリマス。

○安保國務大臣 先刻私ガ申上ゲマシリマスケレドモ、只今巡洋艦ニ是ダケノ支拂高豫定デ宜シイ、豫定デヤッテ居ルト言フカラ、其豫定ヲ聽カウト言フノデアル。

○安保國務大臣 先刻私ガ申上ゲマシリマスケレドモ、只今巡洋艦ニ是ダケノ支拂高豫定デ宜シイ、豫定デヤッテ居ルト言フカラ、其豫定ヲ聽カウト言フノデアル。

○内田委員 出來テ居ラナケレバ豫定表ヲ直チニ作製シテ御提出アランコトヲ希望ミマス。

○安保國務大臣 線表ヲ確實ニ作ラナセヨリマス、豫算モヤハリ狂ツテ參リマス、竣工ノコトハ出來兼ネマス、竣工ノコトハ實際上ニ於テ非常ニ困難ダト思ヒマスカラ、其點ハ御諒承ヲ願ヒタイト云フコトニ付テモ、大體ハ今日申上ゲマシタヤウナコトニハナリ得マスケレドモ、之ヲ一々ニ割當テ、ノコト云ハ、ヤハリ線表ガ確實ニ出來テシマハナケレバ作製スルコトハムヅカシイト思ヒマス。

○内田委員 表ヲ直チニ作製シテ御提出アランコトヲ希望ミマス。

○内田委員 表ノ點ニ付テハ祕密會マデ要求シテ御

○内田委員 表ガ出來ナイト仰シヤルケレドモ、線

○内田委員 說明ニナツテ居ルガ、ソレデハ宜イ加減

○内田委員 ノモノヲ讀上ゲタノデアルカ、祕密會

○内田委員 マデ要求シテ讀上ゲラレタニ付テハ大

○内田委員 體ニ於ケル海軍大臣ノ御豫定ガアルニ

○内田委員 違ヒナイ、其御豫定ガアル以上ハ其豫

○内田委員 定ニ基イテ各年度支出額ガ幾ラニナル

○内田委員 體ニ於ケル海軍大臣ノ御豫定ガアルニ

○内田委員 違ヒナイ、其御豫定ガアル以上ハ其豫

○内田委員 カ、是ガ分ラナイ理窟ハ斷ジテナイ、

○内田委員 故ニ大體ノ豫定デ宜イカラ、各艦ニ瓦

○内田委員 ル各年度割ノ支拂額ヲ御示ヲ願ヒタイ

○内田委員 ナイデ、大體ノ艦ヲ幾ラ造ルト云フコ

○内田委員 トダケ分ツテ、繼續費ニ付テ御同意ニ

○内田委員 ナツタ以上ハ、ソレデハ一體七年度デ金

○内田委員 ガ一億萬圓足ラナイトカ、八年度デ三

○内田委員 千萬圓足リナイトカ、九年度ニ行ツタ

○内田委員 ラ二千萬圓餘ルトカ、山凹ガ出來ナケ

○内田委員 レバナラナイカラ、此繼續費ニ對シテ

○内田委員 シタガ、線表ガ出來ナケレバト云フノ

○内田委員 ハ、是ハ大體ノ標準ヲ今日御話ヲ致シ

○内田委員 タノデアリマスガ、今政府委員カラモ

○内田委員 申上ゲマシタヤウニ、色々工廠及ビ民

○内田委員 間トノサウ云フヤウナ調節ヲ圖ルトカ

○内田委員 色々ナ經費ノ方ノ關係モ考慮シテ、茲ニ

○内田委員 巡洋艦ニ重キヲ置クトカ、驅逐艦ニ重

○内田委員 キヲ置クト云フヤウナコトヲ考慮シテ、

○内田委員 本當ノ實行上ノ線表ヲ作ツテ、ソレヲ豫

○内田委員 算ニ照合シテドノ艦ガドウト云フコト

○内田委員 ニナル次第デアリマスカラ、其以前ニ

○内田委員 ハチヨツト調製ハムヅカシイト云フ意

○内田委員 味ニ加藤政府委員ガ申サレタノハ其通

○内田委員 リカト存ジマス。

○内田委員 然ラバ方向ヲ變ヘテ御伺

○内田委員 シテ行ク、先刻此第一次補充計畫ノ中

○内田委員 制限内艦艇ニ屬スル分ノ起工豫定、竣

工豫定ノ御説明ガアツタノデアリマス、
艦ハ只デハ出來マセヌ、必ズ相當ノ金
ガ要ル、故ニ之ヲ工廠デ造ルモノトシ
テ、アノ豫定表ニ基イテ、各年度幾ラ
ノ金ノ支出ニナリマスカ、ソレヲ伺ヒ
マス、是ガ分ラヌトハ言ハレマスマイ

○加藤政府委員 總テ先程カラ御答辯
申上ゲテ居リマスヤウニ、内容ガマダ
動キ得ルモノデアリマシテ、數字的ニ
説明スルコトハ實際困難デアリマスカ
ラ、其點ハ御諒承願ヒマス

○内田委員 先刻祕密會ニ於テ、巡洋
艦ノ一番船ハ何時起工シテ何時出來上
ル、驅逐艦ノ一番船ハ何時起工シテ何
年ニ出來上ル、斯ウ云フコトヲ御説明
ニナツタ、サウシテ驅逐艦一艘ハ何百萬
圓、巡洋艦一艘ハ何千萬圓デ出來ルト
云フコトガ分ツタ、然ラバ各年度ノ支拂
額ガドウナルカ、是ガ御説明ニナレナ
イト云フコトハナイ

○加藤政府委員 其程度ノモノハマダ
出來テ居リマセヌ

○内田委員 然ラバ直チニ御作成アラ
ンコトヲ願ヒマス、是ガ出來ナケレバ
論議出來マセヌ

○加藤政府委員 直チニト云フ御話デ
アリマスケレドモ、直グニハ中々出來
兼ネマス

○加藤政府委員 出來ルダケ御要求ニ
應ジタイノデアリマスケレドモ、實際
出來ナイノデアリマス

○内田委員 豫定表ガ出來テ、單價ガ
分ツテ、ソレデ各年度ノ支拂額ガ分ラヌ
ト云フコトハナイ、ソレナラ豫算ノ基
礎ハドウシテ出來上ツタカ、海軍大臣
——向フヲ向カズニ御答辯願ヒタイ、
大體デ宜シイ、多少違フコトハ豫定ダ
カラ仕方ガナイ、汽車デサヘ遲レテ著
ク、是ハ仕方ガナイ、其豫定表ガアツテ、
軍艦一艘ハ幾ラダト云フコトハ御説明
ニナツテ居ル、而シテソレヲ掛ケテ行ケ
バ、各年度割ノ巡洋艦ニ支拂フ金ガ
出テ來ル、驅逐艦ニ支拂フ金ガ出テ來
ル、ソレガ出來ナイト云フノハ、出來
ナイノデハナイ、シナインダ、政府ニ
強要サレテ、ソンナモノハ出スナト言
ハレテ、又經理局長ハ事務官タル、軍
人タル身分ヲ忘レテ——西班牙ニ革命
ガ起ツテ——西班牙ガ今日ノ裏運ヲ來
シタノハ、軍人ガ其本分ヲ忘レテ、政治
家ニナツタカラ斯ウ云フコトニナツタ、
此點ニ付テ私ハ此前モ申上ゲタ、名譽
アル軍服ヲ忘レテハイケナイ、獨立セ
ル御答辯アランコトヲ特ニ御願スル次
第デアリマス

○加藤政府委員 色々御話デアリマス
ケレドモ、先程カラ申上ゲマスヤウニ、
工廠ニ註文致シマスモノト、民間ニ註
文致シマスモノトガ、マダ決マツテ居ラ
ナイノデアリマス、平均デ宜シト云
フ御話デアリマシタケレドモ、ソレト
線表トハ必ズシモ合致シナインデアリ
マスカラ、ソレデ出來ナイト申上ゲテ
居ルノデアリマス

○内田委員 然ラバ特ニ御伺スル、全
部工廠ニ於テ製造スルモノナリトノ條
件ノ下ニ、此豫定金額、支拂高ヲ要求
致シマス

○加藤政府委員 實際ナイノデアリマ
ス、是カラ作ラナケレバナラナイノデ
アリマス、是カラ作ルト云フコトハ、
先ヅ其大方針ヲ定メテカラデナイト決
マラナイ譯デス、ソレハ中々早急ニハ
出來ナイノデアリマス、出シ得ルナラ
バ無論出シテ居ルノデアリマス、今マ
デモ出シ得ルモノハ出シ得ルト申上ゲ
テ居ルノデアリマスガ、實際出來ナイ
ノデアリマスカラ誤解ノナイヤウニ願
ヒマス

○内田委員 海軍大臣ニ御伺シマス、
御聽及ビノ通り、加藤政府委員ハ之ヲ
工廠デドノ位造ルカ、民間デドノ位造
ルカ、大方針ガ決定シテ居ラナイガ故
ニ、此豫定表ガ作レナイトノ御言葉デ
アリマスガ、然ラバ私ハ全部工廠デ製
造スルモノナリトノ假想條件ノ下ニ於
テ、此各年度支拂額ヲ——先程御説明
ノ豫定表ヘ單價ヲ掛ケテ行ケバ直グ出

○安保國務大臣 チヨツト今直グ此處
デ御答ハ出來兼ネマス

○内田委員 何時、其御答ガ出來マス
カ、質問ノ都合ガアリマスカラ……

存ジマス

○内田委員 今度ハ困難ナ理由ハ加藤

經理局長ノ言葉ヲ藉リ、加藤經理局長

ガ出来ナイト言ツタカラ出来ナイト言

ハレル、是デハ加藤經理局長ノ下ニ支

配サレル海軍大臣ト言ハナケレバナラ

ヌ、加藤君ハ海軍大臣ノ幕僚ヂヤアリ

マセヌカ、其海軍大臣ガ出スト云フ信

念——殊ニ艦政本部長モ勤メラレ、次

官モ勤メラレ、而シテ今日ノ海軍大臣

トナツタ大臣ガ、是ハ政府委員ガ出来ナ

イト言ツタカラ出来ナイト云フ國務大

臣ノ答辯ハ未ダ曾テ議會ヲ通ジテ一遍

モサウ云フ事ハナイト存ジマス、アナ

タガヤル氣ニナツタラヤレル、經理局長

ガ出来ナイト言ツタカラ出来ナイト云

フ、サウ云フ御答辯ハ御改メ願ヒタイ

ノデアリマス

○安保國務大臣 加藤政府委員モ申上

ゲタ通リト言ツテ、其處ノ所ヲ唯敷衍シ

テ申シタノデアリマシテ、加藤政府委

員ノ言フコトヲ肯イテ居ルト云フ意味

デハアリマセヌ

○岡田委員 繼續費ヲ出シテ居ル、内

田君ノ要求タルヤ繼續費ノ内容ニ屬ス

ルモノデアル、内容ヲ累計シテ要求ス

ルモノデアル、其要求ヲ出セヌトカ、

出セルトカ云フヤウナコトハ問題ニナ

ラヌヤウニ私ハ思フノデアリマス、私

ハ更ニソレデハ海軍大臣ニ伺ヒマスガ、

是ハ時間ヲ置ケバ出来ルノカ、全然出

來ナイト言フノカ、ドチラデアリマス

カ、出来ナイト云フコトナラバ私ハ繼

續費ノ根據ガナイト言フ外アリマセ

ヌ、時ヲ多少假シテモ宜イト云フコト

ニシタ時ニ、出来ルカ出来ヌカ、此二

ツノ點ニ付テ議事進行トシテ御明答ヲ

願ツテ置キタインデアリマス

○安保國務大臣 岡田サンカラノ御尋

デアリマシタガ、先程カラ内田サンノ

トナツタ大臣ガ、是ハ政府委員ガ出来ナ

イト言ツタカラ出来ナイト云フ國務大

臣ノ答辯ハ未ダ曾テ議會ヲ通ジテ一遍

モサウ云フ事ハナイト存ジマス、アナ

タガヤル氣ニナツタラヤレル、經理局長

ガ出来ナイト言ツタカラ出来ナイト云

フ、サウ云フ御答辯ハ御改メ願ヒタイ

ノデアリマス

○安保國務大臣 加藤政府委員モ申上

ゲタ通リト言ツテ、其處ノ所ヲ唯敷衍シ

テ申シタノデアリマシテ、加藤政府委

員ノ言フコトヲ肯イテ居ルト云フ意味

デハアリマセヌ

○岡田委員 繼續費ヲ出シテ居ル、内

田君ノ要求タルヤ繼續費ノ内容ニ屬ス

ルモノデアル、内容ヲ累計シテ要求ス

ルモノデアル、其要求ヲ出セヌトカ、

出セルトカ云フヤウナコトハ問題ニナ

ラヌヤウニ私ハ思フノデアリマス、私

ハ更ニソレデハ海軍大臣ニ伺ヒマスガ、

見テ又疑ガアレバ伺ヒマス、ドウ云フ

表ガ出来ルカ表ヲ見ナイ中ニ論ズルコ

トハ出来マセヌ、御互ニ激シタコトハ

元ヘ戾シテ冷靜ニ更ニ國家ノ爲ニ審議

ヲ進メラレルコトヲ御願致シマス

○高橋委員 既ニ六時ノ定刻ヲ過ギテ

居リマスカラ暫時休憩ヲ致シテ、吾々

ノ腹拵ヘラ十分ニ致シテ質疑ヲ繼續シ

タイト思ヒマス、ソレカラ海軍當局ニ

モ其間ニ今ノ要求ノ調書ヲ御用意ニナ

ランコトヲ此場合希望致ス次第デアリ

マス

○内田委員 私、表ガ出来テカラ更ニ

只今ノ質疑ヲ繼續致シマス

○本田委員長 一時間休憩致シマス、

七時二十分カラ始メマス

午後六時十三分休憩

午後九時十六分開議

○内田委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ

開キマス

○内田委員 議事進行ニ付テ——先刻

海軍大臣ノ答辯ノ際ニ催促シテ置キマ

シタケレドモ、アノ海軍大臣ガ御調製

ニナツテ居ルト云フ表ハマダ出來ナイ

ノデゴザイマスカ、海軍大臣ハ後程御

出席ニナルノデゴザイマスカ、ソレト

ルノデアリマスカ

致シテモ宜シウゴザイマス

○内田委員 ソレデ結構デス、ソレヲ

レドモ、今アナタノ請求セラレタ書類

ヲ作ッテ居ルト云フコトデアリマス

○内田委員 諒承致シマシタ

○本田委員長 内務大臣ガ御出席ニナ

リマシタガ、岡田君ハ御質問ガアリマ

スカ

○岡田委員 私ハ内務大臣ニ御聽シテ

モ一寸細カクナリマスカラ、政府委員

カラ御答ヲ願ヒマス(「政府委員ヂヤイ

カヌ」ト呼フ者アリ)待ツテ下サイ、順

序ガアリマスカラ、ソンナニ言ツテモ仕

様ガナイジャナイカ、詰リ内務大臣ニ

質問ヲ致ス順序ト致シマシテ、是マデ

御提出ニナツタ表ガアリマス、其表ニ

付テ一應政府委員カラデモ宜シウゴザ

イマスカラ御答願ツテ、其上デ内務大臣

ニ質問致スノデゴザイマス、此前ニ「地

方稅制整理後ニ於ケル各稅增減一覽表」

ト云フ内務省提出ノ書類ニ付テ、私ハ

第一頁ニアル府縣稅ノ差引、今回ノ稅

制整理ノ結果ニ依ツテ減ガ、九十三萬圓

デアルト云フコトデアル、此數字ニ於

テ第一ニ此營業稅ノ減收額百八十五萬

圓ト云フ、是ハ如何ナル基準ヲ根據ト

致シテ計上サレタノデアルカ、私ノ見

ル所ハ少シ異ツテ居ルト云フコトヲ申

シテ置イタノデアリマスガ、ソレニ付

思フノデアリマス、即チ「營業稅輕減

額調」ト云フ表ヲ御出シニナツテ居ルノ

デアリマスガ、之ニ付テ一應御説明ヲ

方ハ御監督ガ出來ナイノデアル、當初豫算ノ、即チ昭和四年度ニ於テハ現政府ガ方策ヲ樹立致シマシテ、サウシテ政府ノ豫算ハ固ヨリ、各府縣ニ於テ一割五分ノ減稅ヲシロト斯様ニ言ウテ居ルノデアル、サウスレバ當初豫算ノ決算ト云フモノハ、必ズ是ハ内務省ニ於テ、内務大臣ガ蒐集致シテ、自然減ガ幾ラデアルカ、繰延ガ幾ラデアルカ、節減ガ幾ラト云フコトヲ見テ、之ヲ監督シナケンバナラヌト思ヒマス、之ヲ私ハ豫算總會ニ於テ屢々聽イテ居ルケレドモ、内務當局ハ一向此點ニ對シテ關心ヲ持テ居ラヌヤウデアル、此處ニ掲ゲテアル斯ル數字ハ、殆ド無意味デアル、何故ニ内務省ハ監督上ニ於テ、節約トカ、繰延トカ、竝ニ自然減ト云フ區別ニ依ツタモノヲ御監督ノ資料ニ供サレヌノデアルカ、其理由ヲ私ハ承リタイノデアリマス、是ハ政府ノ政策ノ出發點デハナイカ、ソレヲ等閑ニ付シテ、斯様ナル無意味ナル數字ヲ以テ吾々ニ見セルト云フコトハ、私ハ政府ノ誠意ヲ疑フ、何故詳シイ表ガナイカト云フコトノ理由ヲ一應辯明ヲ願ツテ置キタイノデアリマス

バカリ位ノ所デアリマシテ、其内譯ニ
付テーマダ十分御話ノ如キ調査ヲスル運
ビニナツテ居リマセヌノデアリマス、其

トガ決定致シマス前ニ、其事アルヲ豫想致シマシテ負擔減ヲ致シタノデアリマス、所ガ其負擔減ヲ致シマシタ金額程國庫負擔金ノ増加ガナツカタ、豫算ニ

イ、私ハ此數字ニ付テハ非常ナ疑問ヲ
持テ居ル、ドウモ内務省ノ數字ハ近來
非常ニ疑ツテ居ル、ドウモ瞬ニ落チナイ
事ガ多イ、強ヒテ辻棲ヲ合セヤウトシ

豫算ノ、即チ昭和四年度ニ於テハ現
府ガ方策ヲ樹立致シマシテ、サウシテ
政府ノ豫算ハ固ヨリ、各府縣ニ於テ一
割五分ノ減稅ヲシロトス様ニ言ウテ居
ルノデアル、サウスレバ當初豫算ノ決
算ト云フモノハ、必ズ是ハ内務省ニ於
テ、内務大臣ガ蒐集致シテ、自然減ガ
幾ラデアルカ、繰延ガ幾ラデアルカ、

付テマダ十分御話ノ如キ調査ヲスル運
ビニナツテ居リマセヌノデアリマス、其
點ハ御諒承ヲ願ヒマス

○岡田委員 マダ出來テ居ナイト云フ
コトハ、即チ内務大臣ガ正心誠意自分
ノ政策ヲ行フコトノ誠意ナシ、其勇氣
ガナイト云フコトヲ私ハ認ムルモノト
思フノデアリマス、併ナガラ無イモノ
ハ今日求メレコトハ出來マセヌ、併ナ

想致シマシテ負擔減ヲ致シタノデアリ
マス、所ガ其負擔減ヲ致シタノデアリ
程國庫負擔金ノ増加ガナツカタ、豫算ニ
計上シテアリマスルヨリカ、八戸ニ於
テ七百七十七圓、盛岡ニ於テ千百三十
六圓ダケ少イ金ガ、國庫負擔金ガ増額
ニナリマシテモ、尙ソレダケ少イ金ガ
配當ニナリマシタノデ、結局ソレダケ
ハ吉リ余計ニ負擔減ヲシタ云フ其故

持ツテ居ル、ドウモ内務省ノ數字ハ近來
非常ニ疑ツテ居ル、ドウモ腑ニ落チナイ
事ガ多イ、強ヒテ辻棲ヲ合セヤウトシ
テ居ルノデハナイカト云フヤウナ感ジ
ガ頻ニ致スニ依ツテ、實ハ此質問ヲ提出
スル所以デアリマス、其點ハ左様ニ致
シテ置キマシテ、私ハ先般ノ質問ノ續
キヲ始メル積リデゴザイマス

督シナケンバナラヌト思ヒマス、之ヲ
私ハ豫算總會ニ於テ屢々聽イテ居ルケ
レドモ、内務當局ハ一向此點ニ對シテ
關心ヲ持テ居ラヌヤウデアル、此處ニ
掲ゲテアル斯ル數字ハ、殆ド無意味デ

ガラ内務省ノ監督ノ資料トシテ是ハ必
ズナケレバナラヌト思フカラシテ、私
ハ此委員會デナクテモ宜シイ、多少讓
歩致シマセウ、兎ニモ角ニモ此委員會
ノ材料トシテ内務省ノ監督資料ヲ、即

○岡田委員 左様致セバ此減ヲ加ヘテ
盛岡市ニ於ケル減税ニナル見込額ハ幾
ラデアツタノデアリマスカ、元金ト此千
百三十六圓ト云フモノヲ加ヘレバ分ル

テ、府縣ノ減稅額ヲ補ハシガ爲ニ、都
市計畫ニ於テ課率ノ變更ヲ致スベキモ
ノヲシナカツタ、ソノシナカツ分ヲ他ノ財
源ニ充テタト云フ御話デアル、而モ其
都市計畫稅ニハ申スマデモナク地租割

アル、何故ニ内務省ハ監督上ニ於テ、節約トカ、繰延トカ、竝ニ自然減ト云
フ區別ニ依ツタモノヲ御監督ノ資料ニ
供サレヌノデアルカ、其理由ヲ私ハ承

チ自然減、節約、繰延、此三ツニ分ケ
テ當初豫算ノ結果ヲ御報告アランコト
ヲ希望致シテ置キマス、御分リニナリ

ノデアリマセウガ、元金ハ幾ラニナリ
マスカ

並ニ營業割ト云ノツノ課目カアルノ
デアリマス、地租割ニ付テハ之ヲ現狀
ノ儘ニ止メテ居ヲタ、サウ致セバ都市ニ
付テハマダ宜イケレドモ、府縣ノ都市

リタイノデアリマス、是ハ政府ノ政策
ノ出發點デハナイカ、ソレヲ等閑ニ付
シテ、斯様ナル無意味ナル數字ヲ以テ
吾々ニ見セルト云フコトハ、私ハ政府
ノ誠意ヲ疑フ、何故詳シイ表ガナイカ
ト云フコトノ理由ヲ一應辯明ヲ願ツテ
置キタイノデアリマス

○次田政府委員 分リマシタ
○岡田委員 其次ニ義務教育費國庫負擔金ノ増額ニ依ル各都市減稅種目別金額並課率輕減調ト云フモノヲ御出シニナツテ居リマスガ、御説明願ヒタイコトハ、例ヘバ八戸、盛岡邊リニ三角ノ印ガアリマス、是ハドウ云フ意味ヲ現シ

備考ノ所ニ書イテアリマスル通り、當初豫算ニ於テ増額ヲ財源トシテ戸數割一戸當四十七錢七厘減シマシタ結果、餘計ニ負擔減ヲシタト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス
○岡田委員 ソレデハ其處ニ他ノ政府委員モ居ラレルヤウデアリマスカラ、

計畫ニ付テハ其財源ヲ少クスルチヤナ
イカト云フコトヲ御伺シタケレドモ、
ソレハ正ニ左様デアル、將來ノ都市計
畫ヲ實施スル府縣ニ向ツテハ、マダ用意
ガシテナイト云フコトヲ御認メニナ
テ居ルカラ、私ハソレニ止メテ置イタ
ノデアルガ、然ラバ營業割ニ付テハド

○次田政府委員 御承知ノ如ク昭和四
年度道府縣ノ決算ハ、ツヒ昨年末ノ通
常府縣會テ認定ニナツタノデアリマシ
テ、漸ク其決算書ガ恰度内務省ヘ參ッタ

タノデアリマスカ
○次田政府委員 是ハ八戸、盛岡等ニ
於キマシテハ、年度ノ初メニマダ義務
教育費國庫負擔金ノ増額ニナリマスコ

私ノ質問中ニ御調べヲ戴キマシテ、其額ヲ御提出アランコトヲ希望致シマス、進行ノ都合上是ハ茲ニ措キマスカラ、後カラ私ノ質問中ニ御返事ヲ願ヒタ

ウ致シタカト云フコトニナリマスルト云
云フト、都市計畫ヲ實行致シテ居ル所
ノ各府縣デ、其財源ヲ上スベキモノヲ
上サズニ他ニ廻シタト云フコトニア

ル、而モ都市計畫ヲ實施サレテ居ル所ノモノハ、政府委員ノ御答ハ四十七府縣ノ中埼玉ト沖繩以外ハ皆施行サレテ居ルト云フ御話デアル、ソレデ一應諒成程都市計畫法ノ實施ハサレテ居ル縣ナレドモ、チットモ實際ニ於テ都市計畫ノ事業ヲ始メテ居ナイ縣ガ澤山アルヤウデアル、二十何縣デアリマシタカ、ソレハ政府委員ノ方デ御承知デアリマセウ、二十カ十九ダツタト思ヒマスガサウ致スト云フト此二十府縣以外ノ府縣ニ付テハ固ヨリデアル、又私ノ言フ理由ハ都市計畫ヲ現實ニ實施シテ居ル府縣ニ付テモ同ジコトデアルガ、特ニ實施サレテ居ラヌモノニ最モ理由ガアル思フガ、此都市計畫財源ト云フモノハ都市計畫ヲ行フ爲ニ取ッテ居ルノデ、法律ノ約束ガアル、然ルニ都市計畫ノ財源ト云フモノヲ他ニ利用スルト云フコトハ、何ノ權限ニ依ッテナサルノデアルカ、私ハ非常ニ疑惑ヲ存スルノデアリマスガ、其御辯明ヲ願ヒタイ

○次田政府委員 都市計畫ノ特別稅タル營業收益稅ハ現行ハ百分ノ二十二トナツテ居リマスルノヲ、若シ營業收益稅ガ減ジマスルノニ之ヲ今マデ通リニ收入ヲ得ヨウト致シマスレバ、百分ノ二付ニテ居ラヌモノニ最モ理由ガアル思フガ、此都市計畫財源ト云フモノハ都市計畫ヲ行フ爲ニ取ッテ居ルノデ、法律ノ約束ガアル、然ルニ都市計畫ノ財源ト云フモノヲ他ニ利用スルト云フコトハ、何ノ權限ニ依ッテナサルノデアルカ、私ハ非常ニ疑惑ヲ存スルノデアリマスガ、其御辯明ヲ願ヒタイ

○岡田委員 都市計畫ノ特別稅タル營業收益稅割ト云フモノハ都市計畫ニ割當シムル爲ニ稅ヲ認メタノナル、ソレヲ今如何ナル都合デ其財源ヲソレダケ外ニ利用スルカ、其外ニ利用スルノハイカヌヂヤナイカ、御尤デアリマスルガ、是ハ現在都市計畫法ガ

十四ニシナケレラバナヌ譯デアリマス、其二十四ヲ百分ノ二十二ニ止メテ置イテ、都市計畫ノ費用——都市計畫ニ關係スル費用ヲ、若シ都市計畫特別稅デス、其點ガイカヌヂヤナイカ、斯ウ云フ御質問ト諒承致シマシタガ……

○岡田委員 サウヂヤアリマセヌ、失フコトハ是ハ一ツノ問題デアリマスガ、今又私ノ申シタノハ、吾々都市計畫ノ爲ニ用ヒサスト云フ約束ヲ以テ法律ヲ決議シテ居ルノデアルカラ、ソレヲ他ニ利用スルト云フコトハ、法律ノ精神ナリ、吾々ノ決議ノ約束ヲ破ルデヤアリマセヌカ、此質問ヲシタノデアリマス

○次田政府委員 御尤デゴザイマスルガ……

○岡田委員 是ハ大キナ點デゴザイマスカラ、内務大臣ヨリ御聽シタイ○安達國務大臣 ドウゾ其邊ノ事ハ私責任ヲ持チマスカラ、地方局長カラ申上ゲルコトガ一番明瞭ニ分ルト考ヘマスカラ、地方局長カラ御聽ヲ願ヒマス、私ガ責任ハ執リマス

○次田政府委員 都市計畫特別稅ノ中ノ營業收益稅割ト云フモノハ都市計畫事業ニ割當シムル爲ニ稅ヲ認メタノナル、ソレヲ今如何ナル都合デ其財源ヲソレダケ外ニ利用スルカ、其外ニ利用スルノハイカヌヂヤナイカ、御尤デアリマスルガ、是ハ現在都市計畫法ガ

○岡田委員 今一度御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、チョト私ニモ腑ニ落チヌ所ガアリマスカラ……

○次田政府委員 是ハ昭和五年度ノ豫算デ、道府縣ノ豫算デアリマスルガ、

実施サレテ居リマスル金ガ、約一千四百萬圓アルノデアリマス、其中デ特別稅デ支辨シテ居ル分ハ三百五十萬圓デアリマシテ、殘リノ一千萬圓程ノモノハ、一般ノ財源デ支辨シテ居ルノデアリマス、デ今特別稅ノ方ノ財源ヲ、百

分ノ一半カ百分ノ二ニ當ルノデアリマスガ、ソレダケモノヲ一般財源ノ方へ餘

デス」ト呼フ、サウ云フ譯デアリマス

其金額ハ……(岡田委員「金額ハ宜イ

ヲ持ツテ居ルモノガアルノデアリマス

ル費用ヲ、一般財源デ持ツテ居リマスル

金額ガ——一般財源デ都市計畫ノ仕事

ヲ持ツテ居ルモノガアルノデアリマス

カラ、一般財源ノ方へ振向ケルト致シ

マシテモ、都市計畫事業ノ爲ニ、金ヲ出スト云フ點ニ於テハ同ジコトナノデ

アリマス、無論是ハ法律ノ改正ヲ願ハ

ナケレバ出來ナイコトデアリマス、此

際其法律ヲサウ云フ風ニ改正ヲ願ヒタ

イト云フ案ヲ出シタノデアリマス、ソレデ今マデ都市計畫事業ノ爲ニ充テ、

アル稅ヲ、一般財源ノ方へ持ツテ行クノ

ハイケナイヂヤナイカト云フ御説デア

リマスルガ、本來ナラバ都市計畫特別

稅デ以テ支拂フベキ費用ヲ、一般財源

ノ方デ現在ニ於テ相當持ツテ居リマス、

ノ方デ現在ニ於テ相當持ツテ居リマス、

其點ハ差支ナイコト、考ヘテ居ルノデ

アリマス

○岡田委員 マア一應御話ハ承ツテ置

キマスケレドモ、斯様ナル特別ノ用途

ノ爲ニ決メテアル所ノモノヲ、一時ノ

便宜ノ爲ニ他ヘ廻シテ、殊ニ埼玉、沖

縄二縣ノ如キハ、成程四十縣中僅ニ二

縣デアリマスケレドモ、何等施行サレテ居ラヌ所ノ縣カラ之ヲ取上ゲテ、又他ニ全國的ニ流用スルト云フコトハ、洵ニ私ハ不當ナ事デアラウト思フノデアリマス、先夜來私ハ、内務省ノ御研究ガ總テ足ラヌト云フコトノ是ガ一例ニナルト私ハ思フ、ノミナラズ法律ハ施行サレテ居テモ、實際利用ノナイ所ノ二十府縣以外ノモノモ、沖繩、埼玉同様ノ批評ヲ下シ得ルト私ハ思フノデアリマス、是以上ハ追窮シナイケレドモ、私ハ内務省ノ研究ガ足ラヌト云フコトノ一例ヲ提供シテ、御研究ヲ願フ譯デアリマス

ソレカラ百分ノ二十四ニスルト云フコトハ、府縣モ都市モ同様ノ立場ニ在ルノデアリマス、府縣ノミハ之ヲ他ノ一般財源ニ流用シテ、都市ニ付テハ上ゲモセズ、下ゲモセズ、委讓モセズト云フ理由ハドウ云フコトデアリマスカ、其扱ヲ異ニシテ居ルヤウニ考ヘマスガ、ソレハドウ云フ御考デアリマスカ

○次田政府委員 都市計畫特別稅ノ課率ハ、ズット府縣ト市町村ト頭ヲ揃ヘテ參ツテ居ルノデアリマス、現在ノ都市ノ方ノ關係ヲ考ヘテ見マスト、現在ノ儘ニ据置キマシテモ、其都市ハ從來ノ通話ト云フモノハ、甚ダ腑ニ落チマセヌ、

○安達國務大臣 岡田君、是ハ詳シ事ハヤハリ局長カラ御答シマス、私ハ細カイ事ハ知リマセヌカラ、ソレデ局长カラ御聽ヲ願ヒタイ

○岡田委員 私ハ只今問題トナリマ

○加藤委員 私ハ此處ノ地租

○岡田委員 都市計畫ニ付テ同僚カラ

○岡田委員 都市計畫ニ付キマシテ今回ノ地租

○岡田委員 法案其他ノ改正ニ依ツテ、都市計畫法ノ

○岡田委員 改正法律案ト云フモノガ出テ居ルノデ

○岡田委員 整理ニ對シテ重大ナル關係ヲ持ツテ居

○岡田委員 アリマス、是ハ相當都市計畫及ビ區劃

○岡田委員 ルモノデゴザイマスカラ、此場合都市

○岡田委員 計畫ノ方ノ十五條ガ、今度賃貸價格ニ

○岡田委員 シテ、勅令ノ定ムル所ニ依ルト云フコ

○岡田委員 トニナツテ居リマスガ、私ハ法律ノ字句

○岡田委員 ノ末節ヲ問フノデハアリマセヌガ、都

○岡田委員 市計畫ニ對シテ、及ビ今度ノ此改正法

○岡田委員 律案ニ對シ、區劃整理トノ關係ニ對

○岡田委員 シ、此場合内務大臣ノ此法律ヲ提案ニ

○岡田委員 ナリマシタモウ少シ根本義ノ御方針ヲ

○岡田委員 私ハ此場合承リタイト思フノデ、大方

針デ宜シイ、都市計畫及ビ區劃整理ニ
關スル安達内務大臣ノ御抱負、之ヲ御
提案ニナツタ以上ハ御抱負アルニ相違
ナイト思フカラ、内務大臣カラ伺ヒタ
イト思フノデアリマス

○安達國務大臣 私ハ淡白ニ申シマス
ガ、非常ニ多忙ナ爲ニ——(十字)
カラ、ソレダカラ、ドウゾ、局長カラ
御答スルコトニ致シマス

〔發言スル者多シ〕

○加藤委員 是ハ地方局長ナドト、私
ハ法律ノ末節ノ問題ヲ御尋ね致シマシ
タナラバ——内務大臣一寸御聞キ下サ
イ、末節ノ問題ヲ御尋致シマシタナラ
バ、地方局長其他カラ御答辯ヲ得テ私
ハ満足致スノデアリマスルガ、今回ノ
地租法改正ニ依リマシテ、此都市計畫
法及ビ區劃整理ノ問題ハ關聯シテ、現
ニ内務大臣ハ此頃本會議ニ於テ、之ヲ
御讀ミニナツタノデアリマス、大方針デ
アリマスカラ、大方針ダケ——ドウ云
フコトノ爲ニ斯ウ云フ法律ヲ御出シニ
ナツタト云フ大方針、是ハ多忙ノ爲ダト
カ云フコト、達ヒマス「拍手、發言ス
ル者多シ」

○本田委員長 静肅ニ——靜カニ

○安達國務大臣 私率直ニ申シマシタ
通リデアリマス、私詳シク能ク——殆
ド時間ガナインデスカラ、調ベテ居リ
マセヌガ、茲ニ此法案ヲ——或ル場合

ハ……(「盲判」ト呼フ者アリ)盲判デハ
アリマセヌ、責任ハ取リマス、併ナガ
ラ内容ヲ調ブルヤウナ時間ハナイノデ
アリマス、ソレヲ悉ク……(發言スル
者多シ)……出來ナイノデアリマス

〔笑聲起り發言スル者多シ〕

○本田委員長 静肅ニ

○安達國務大臣 都市計畫ノ改正法律
案ハ、地租ヲ貨貸價格ニ改メルニ付キ
マシテ、總テヲ對照シテ權衡ヲ得ル爲
ニ出シタノデアリマス

○加藤委員 只今内務大臣ハ御答辯中
ニ、多忙デアッテ見ルコトガ出來ヌ、卒
直ニ言ヘバ内容ヲ知ラズシテ、盲判ヲ捺
シテ居フタ、私サウ云フコトモアルデア
ラウト存ジマス、併ナガラ重大ナル都
市計畫ノ問題デアリマシテ、勅命ヲ仰
テ認メテ居リマスガ、併ナガラ第何條
ニドウトカ云フヤウナコトヲ、一々此
處デ私ハ記憶ニモ残ラナイコトガアリ
マスカラ、ソレデアリマスカラ、局長
ヲシテ詳シイコトヲ申上ゲサセタ方
ガ、此議事ヲ進ムル上ニ於テ宜シイト
云フ意味デ申上ゲタノデアリマス

○加藤委員 只今内務大臣ハ——言葉
尻ヲ取ル譯デハアリマセヌガ、——
(八字)ト云フコトデアリマシタ、サウ
ニナツタ大體ノ骨子ハ何デアルカ、ド
ウ云フコトヲスルノデアルカ、サウ云
相当ノ大法典、ソレニ對シテ——
(六字)ト先刻仰シヤイマシタガ、ソレ
ハ其通デゴザイマスカ、モウ一遍ソレ
ヲ御尋ねシテカラ申上ゲルコトニ致シ

億ノ金ヲ掛ケタノデアリマス、斯ウ云
フ重大ナル問題デアリマス、此事ヲ知
ルヌトハ驚キ入タルコトデアリマス、
モウ一遍其處デ御相談爲サツテ御答辯
ヲ願ヒタトイ思ヒマス

○安達國務大臣 知ラヌト云フ譯デハ

アリマセヌ、細イコトヲ私一々調べテ
居リマセヌト云フコトヲ私ガ申上ゲタ
ノデアリマシテ、責任ハ十分取リマス、
(内容ヲ知ラヌノカ)ト呼フ者アリ)

内容ヲ悉ク知ラヌト云フ、サウ云フ無

責任ノコトデハアリマセヌ、大體ニ於
テ認メテ居リマスガ、併ナガラ第何條
シテ居フタ、私サウ云フコトモアルデア
ラウト存ジマス、併ナガラ重大ナル都
市計畫ノ問題デアリマシテ、勅命ヲ仰
テ認メテ居リマスガ、併ナガラ第何條
ニドウトカ云フヤウナコトヲ、一々此
處デ私ハ記憶ニモ残ラナイコトガアリ
マスカラ、ソレデアリマスカラ、局長
ヲシテ詳シイコトヲ申上ゲサセタ方
ガ、此議事ヲ進ムル上ニ於テ宜シイト
云フ意味デ申上ゲタノデアリマス

スコトモアリマスカラ、都市計畫ノ根
本方針ト言ハレルナラバ、ソレハ現行
ノ都市計畫法ニ依リテ都市ノ發展ヲ圖
ル爲ニ、其計畫ヲ施行スル外ナイノデ
アリマス

○加藤委員 モウ私ハ安達内務大臣ニ

對シテ、法文ノ一節々々引イテ御尋
スルヤウナ慘酷ナコトハ致シマセヌ、
大方針ヲ聞イタノデアリマシタガ、其
大方針ハ都市ヲ良クスル爲メデアルト
言ハレルガ、苟モ法律ヲ出スノニハ、
惡クスル爲ニ法律ヲ出スモノガアリマ
スカ、鐵道敷設法ヲ提案シタ、是ハ何
デアルカト云フト、鐵道ヲ良クスル爲
ニ出スノデス、健康保健法ヲ出シタ、是
ハ何デアルカト云フト健康ヲ良クスル
爲ニ出スノデス、健康保健法ヲ出シタ、是
モノハ、現代ノ國民生活上、衛生、交
通總テノ上ニ於テ頗ル重大ナル關係ヲ
有ツテ居ルノデアリマス、是ハ東京ノ
都市計畫デアリマスゾ、ソレデアリマ
スカラ、之ニ對シテ此法案ヲ御出シニ
ナツタ關係ヲ聞キタイ、ドウ云フ爲ニ
御出シニナツタカ、サウシテドウナル
カ、私ハモウ一つ内容ニ入ツテ御尋シ
タ方ガ、或ハ御分リ宜イカトモ有ジマ
ス、都市計畫法ノ改正法律案ヲ御出シ
ニナツタノハ都市計畫ト區劃整理トソ
關係ノ問題デアルノデアリマス、モウ
一ツ内容ニ入ツテ御教へ致シマスナラ

○安達國務大臣 内容ノ詳シイコトハ
私ハ見マシテモ、或ハ間違ヲ生ジテ落

バ、都市計畫ト、區劃整理ト、耕地整理ノ關係ノ問題ガ、貴方ガ此間御讀ミニナツタ都市計畫法中改正法律案ノ骨子デアリマス、ソコデソレニ對スル大體ノ御意見、御抱負ヲ承ハラナケレバナラヌ、モウ一遍アレヲ御讀ミニナツテモ宜シウゴザイマスカラ、ドウゾ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○安達國務大臣 都市計畫ノコトニ付キマシテハ、地租其他ノ改正ヲシマスカラ、ソレト大體ニ於テ收入ノ變ラナイヤウニスルコトガ目的デアリマス、サウシテ課率ヲ同ジャウニシテ、其根本ノ、今日ノ現狀ノ基礎ヲ壞サナイヨウニシタイト云フコトガ改正案ガ目的デアルト考ヘマス

○加藤委員 是ハドウモ内務大臣トシテ落第デアル、落第二ハ五點ノ落第モアリマスガ、是ハ満點ノ落第デアル、大傑作ノ落第デアル、驚入ッタコトデアル、都市ヲ宣クスル爲ニドウトヤラ、斯ウトヤラ、チットモ譯ガ分リマセヌ、私ハ斯ウ云フ法案ヲ出シタコトハ知ラヌ、内務行政ハ選舉違反以外ノコトハ何モ知ラヌト露骨ニ仰シャレバ、私ハ是レ以上殘酷ナ質問ヲ致シマセヌ、私ハ選舉以外ハ何モ知ラヌト云フコトヲ茲ニ御言明ニナルラバ、次ニ色々ナコトヲ御尋スルコトヲ止メマス、貴方ノ所謂政治的武士道ト云フ言葉デ以

チ、私ハ質問ヲ止メマス、私ハ選舉以外ハ何モ知ラヌ、内務ノコトハ何モ知ニ就テ第何條ガドウトカスウトカ云フキマシテ居ラスト云フコトハ次田君ニ聽イテ吳レト云ウコトデアルナラバ、私ハ次田君ニ聽キマスガ、其御言明ヲ得タイ

○安達國務大臣 此稅ノ賦課ノ關係ハ、現在デモ減ラナイヤウナ程度ニ於テ、標準ヲ定メテ今度ノ改正案ヲ出シテアルノデアリマス、私ハソレヨリ外ニ今度ノ改正案ノ目的ハナイト考ヘテ居リマス

○加藤委員 標準ヲ定メテ云フコトハ、何ノ標準ヲ定メルノデアリマスカ

○安達國務大臣 課率ヲ定ムルノニ、是マデ通リニスルト云フコトデアリマス

○内田委員 先刻私ガ聽イテ居リマスト、安達内務大臣ガ只今論議中ノ都市計畫法中改正法律案ニ對スル加藤委員ノ質問ニ對シテ、自分ハ其一（六字）斯ウ云フ御答辯デアリマシタガ、苟モ勅命ヲ奉ジテ帝國議會ニ提案シテ、其責任所管大臣タル内務大臣ガ、其提

○内田委員 只今ノ安達内務大臣ノ御答辯ハ、何トカ猛々シト申シマスカ、私等ノ方ニ誤解ガアルヤウナ御答辯ダガ、チットモ誤解ハナイ、忙シイカラノ（七字）、忙シクテ内容ヲ知ルト云フヤウナコトヲ御尋シテ居ルノデ

○藤井委員 甚ダ聞棄テナラヌ御言葉ト云フコトヲ要求致シタニ拘ラズ、大ト思フノデアリマス、現ニ加藤君ノ御質問ハ、其條項ノ何條ガ何デアルカト云フヤウナコトヲ御尋シテ居ルノデナリ、此法案ノ大體方針ヲ聞キタイト云フコトヲ要求致シタニ拘ラズ、（八字）ト言ハレルナラバ、大體方針ヲ知ラヌト云フコトニナルデハアリマセヌカ、然ルニ今ニ至リマシテ（九字）ト言フノハ、第何條ガドウダト云フ、其一（九字）ノダト言ハレルコトハ、寔ニアナタノ御話ヲ承ルト、全ク遁辭ニ過ギナイト思フ、其大綱ヲ全然知ラナカツタコトハ寔ニ申譯ガナイト云フナラバ、御取消ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○安達國務大臣 其問題ハ前キニ取消シマシタカラ左様御承知ヲ願ッテ置キ

○安達國務大臣 私ノ——（六字）ト云フ言葉ガ誤解ヲ來シマシタガ、其意味ハ、私ハ非常ニ多忙ナル爲ニ、其内容ニ就テ第何條ガドウトカスウトカ云フコトハ詳シク記憶シテ居ラスト云フ意味デ、——（八字）、サウ云フ意味デナイト云フコトヲアツタナラバソレヲ訂正シテ置キマス、サウ云フ意味デナイト云フコトヲデアツタナラバソレヲ訂正シテ置キマス、サウ云フ意味デナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、私ハ各條ニ付テ細カイコト、殊ニ數字ガ必要デアリマスカラ、サウ云フコトニ付テハ忘レテ居テアルノデアリマス、私ハソレヨリ外ニ今度ノ改正案ノ目的ハナイト考ヘテ居リマス

マス
○藤井委員 然ラバ私ガ今御尋致シタ

通り、此案ノ大綱モ方針モ何モ知ラナ
カツタト云フコトニ諒解シテ差支ゴザ
イマセヌカ

○安達國務大臣 サウ云フ譯デハアリ
マセヌ、唯内容ノ逐條ニ付テノ細カイ
事ハ一々記憶ヲ致スコトモ出來マセヌ
レデ地方局長ニ重ネテ御尋ラ願ヒタイ、
斯ウ云フ意味デアツタノデアリマス、私
ガ全ク内容ヲ知ラヌト云フノデハアリ
マセヌ

○加藤委員 只今ノ内務大臣ノ御答辯
中ニ、數字ヤ何カノ事ニ關シテハト云
フ御話ガアリマシタガ、條文ヤ數字ニ
付テノ末節ナ事デゴザイマシタナラバ、
私ハ内務大臣ノ御出デヲ願フ必要ハナ
イ、私ハ極ク大綱ニ付テ——御聽キ下
サイ、後デ緩クリ御相談ヲ願フコトニ
シテ、私ノ言フコトヲ能ク御聽キ下サ
イ——私ハ都市計畫ノ方針ニ付テ承リ
タイト云フノデアリマス、苟クモ内務
行政ノ首班タル内務大臣、此大帝都ヲ
持ツテ御出デニナル内務大臣ガ、今ヤ將
ニ都制ノ敷カレントスル時ニ當リマシ
テ、都制ガ善イカ悪イカ、特別市制ヲ
敷クコトガ善イカ悪イカト云フコトガ
問題ニナツテ居ル、サウ云フ場合ニ此都
市計畫ニ付テノ御抱負ヲ私ハ承リタイ、
マセヌ

○安達國務大臣 然ラバ私ガ今御尋致シタ
マセヌ、唯内容ノ逐條ニ付テノ細カイ
事ハ一々記憶ヲ致スコトモ出來マセヌ
レデ、間違ヒ易ウゴザイマスカラ、ソ
マセヌ

○加藤委員 只今ノ内務大臣ノ御答辯
中ニ、數字ヤ何カノ事ニ關シテハト云
フ御話ガアリマシタガ、條文ヤ數字ニ
付テノ末節ナ事デゴザイマシタナラバ、
私ハ内務大臣ノ御出デヲ願フ必要ハナ
イ、私ハ極ク大綱ニ付テ——御聽キ下
サイ、後デ緩クリ御相談ヲ願フコトニ
シテ、私ノ言フコトヲ能ク御聽キ下サ
イ——私ハ都市計畫ノ方針ニ付テ承リ
タイト云フノデアリマス、苟クモ内務
行政ノ首班タル内務大臣、此大帝都ヲ
持ツテ御出デニナル内務大臣ガ、今ヤ將
ニ都制ノ敷カレントスル時ニ當リマシ
テ、都制ガ善イカ悪イカ、特別市制ヲ
敷クコトガ善イカ悪イカト云フコトガ
問題ニナツテ居ル、サウ云フ場合ニ此都
市計畫ニ付テノ御抱負ヲ私ハ承リタイ、
マセヌ

○安達國務大臣 現行ノ勅令ニ於キマ
シテハ、其地價ノ定メ方ガ耕地整理法
ノ規定ヲ準用シテ居ル、今回ノ改正ニ
方リマシテハ、大體ヤハリ耕地整理法
御話デアリマスガ、其通リデアリマス、
ソレデサウ云フコトガドンナモノデア
ラウカ、現代ノ都市計畫ヲスル時ニ、
耕地整理法ニ依ツテヤルト云フコトガ、
アリマス、是ハ内務大臣常識カラ御答
辯ガ願ヘル事デアラウト思フ、ソレカ
ラ私ハ少シヅ、此御答辯ヲ得テ、斯ウ
云フ事斯ウ云フ事ト申シテ見タイト思
フノデアリマス、揚足ヲ取ル譯デヤア
リマセヌ

○安達國務大臣 都市計畫ノ根本方針
デハナイデゴザイマセウ、此法律案ハ
都市計畫ニ付テノ特別稅ノ事ニ付テデ
アリマス……
(「都市計畫トノ關係ダ」ト呼フ
者アリ)

○加藤委員 都市計畫ト此改正法律案
ヲ提案サレタ關係、隨テモウ一ツ私、
ヲ御提出ニナツタ根本ノコトヲ御尋シ
タイト、斯ウ思フノデアリマス、ドウ
タガ御分リニナツテカラ、私ハ耕地整理
ト區劃整理トノ關係ヲ聽イテ、此本案
ヲ御提出ニナツタ根本ノコトヲ御尋シ
タイト、斯ウ思フノデアリマス、ドウ
ゾ御悠リ御相談願ヒマス

○安達國務大臣 都市ノ中ノ區劃整理
ハ、都市ノ中ノ或ル地域ヲ限ツテ、サウ
シテ其處ヲ區劃ヲ整理シテヤルノデア
リマス、サウシテソレト耕地整理トノ
關係デアリマス、是ハ各地ノ都市ニ於
テ行ハレテ居ルノデアリマス

○加藤委員 都市計畫ハ都市ノ或ル部
分ヲ區劃シテ整理スルト云フヤウナ御
話デアリマシタガ、其通リデアリマス、
タ、其通リデアリマス、其通リデアリ
マシテ、寔ニ私謹ンデ敬意ヲ表スル次
第デアリマスガ、其今ノ、今般都市計
畫ノ完備ヲ圖リタイト御考ニナリマス
カ、都市計畫ハ不完全ノ儘デ宜カラ
ウ、或ハ都市計畫ハ今後益々完備シタ
イカ、マア大概ノ所デ置キタイ、不完

全デモ宜イカラ放ツテ置カウカ、斯ウ云
フコトハドツチヲ御採リニナリマスカ
マセヌ、モウ少シ——都市計畫ノ改正
法律案ヲ御出シニナリマシタガ、是ハ
現今ノ、今其處デ御相談ナツステ仰シヤ
タヤウニ、耕地整理法ニ依ツテトカ云フ
御話デアリマスガ、其通リデアリマスカ
マセヌ

○安達國務大臣 無論完備シタイト考

此法律ニ關シテ——漠然タル都市計畫

ノ規定ヲ準用スル見込デアリマス

○加藤委員 大分輸血ガ初マリマシ
テ、幾分ヅ、質問ノ重點ニ近付イテ來

ト云フノデハナイ、此法律對都市計畫
ノ關係ヲ私ハ承リタイ、斯ウ云フノデ
アリマス、是ハ内務大臣常識カラ御答
辯シテモ御分リニナラヌ、モウ一ツ、
モウ安達内務大臣ニ斯ウ云フコトヲ御
尋シテモ御分リニナラヌ、モウ一ツ、
ドウ云フモノデアラウカ、ムヅカシイ
コトヲ仰シヤツテ居ルノデアリマセヌ——

○加藤委員	耕地整理ト申シマスコト ハ、只今内務大臣ガ仰セニナッタ通リデ アリマスガ、耕地整理ト、區劃整理ト、 内務大臣ハ何レヲ重シトサレルノデア リマスカ	ヘテ居リマス
○安達國務大臣	ソレハ市ニ於テハ區 劃整理、地方ニ於テハ耕地整理、何レ モ其間ニ輕重ハナイト私ハ考ヘテ居リ マス	テ、一ツ同等ノ待遇ヲシテ居ルカ、シ テ居ナイカ、アナタハシテ居ルト言ヒ マスガ、シテ居リマセヌ、國家ハ之ニ モ其間ニ輕重ハナイト私ハ考ヘテ居リ マス
○加藤委員	是モ満點ノ御答辯デアリ マシテ、村ノ田ヤ畠ニ行ツテハ、區劃 整理ハイキマセヌ、ソレハ其通リノコ トデ、ソレカラ都市、市ニ於テハ區劃 整理ヲシナケレバナラヌ、其通リデア リマスガ、ソコデ内務大臣ノ御答辯、 其通リデ及第デアリマスガ、ソコデ 私ハ御尋致シマスガ、區劃整理モ耕地 整理モ、只今輕重ナイト仰シヤツタノ デアリマスガ、同等ニト云フコトヲ仰 尋致シマス、同等ノ待遇ヲ致シテ居ル カドウカト云フコトヲ御尋致スノデア リマス	テ、一ツ同等ノ待遇ヲシテ居ルカ、シ テ居ナイカ、アナタハシテ居ルト言ヒ マスガ、シテ居リマセヌ、國家ハ之ニ モ其間ニ輕重ハナイト私ハ考ヘテ居リ マス
○安達國務大臣	大體ニ於キマシテ、同 等ノ待遇ヲシテ居ルト考ヘテ居リマス 等ノ待遇ヲシテ居ルト考ヘテ居リマス ○加藤委員 大體ニ於テト云フコト ハ、ドウ云フ事デアリマスカ	テ、一ツ同等ノ待遇ヲシテ居ルカ、シ テ居ナイカ、アナタハシテ居ルト言ヒ マスガ、シテ居リマセヌ、國家ハ之ニ モ其間ニ輕重ハナイト私ハ考ヘテ居リ マス
○安達國務大臣	大體ニト云フ以上ハ、 言現ハサレナイ譯デアリマス、大體ハ 大體デ宜イ譯デアリマス	○安達國務大臣 大體ニト云フ以上ハ、 言現ハサレナイ譯デアリマス、大體ハ 大體デ宜イ譯デアリマス
○加藤委員	淘ニ御聰明ナ御答辯デア リマシテ、面倒ナ事ハ言現ハサヌ方ガ 宜イダラウ、ソレハ含蓄ノアル御答辯 デ、敬意ヲ表シマス、併シサウ云フ抽 象的ノ事ヲ申シテ居フテモ、相濟マヌ ト思ヒマスガ故ニ申シマスガ、國家ト モノニ對シマシテハ、總面積ノ五分ノ 一マデハ地目變換、斯ウ云フコトガゴ ザイマスガ、開墾ヤ地目變換ヲシテモ、 モノニ對シマシテハ、左様ナコトハ少シ モナイ、是ガ頗ル不公平ナコトデアリ マシテ、從來ニ於テハ此食糧問題カラ、 耕地整理ト云フモノハドウシテモヤラ ナケレバナラヌ、其區劃整理ト云フモ ノハ、町ノ者ガ自分ノ地所ヲ高クスル 爲ニヤツタノダカラ、勝手ニシロト云フ 此方ノ建前デアツタ、斯ウ云フコトハ將 來ノ都市計畫ノ上ニ於テドウデアルカ、 内務大臣ハ迪モ分ラヌカラ地方局長ニ	云フ點ガ違フカト云フコトハ、次田君、 テ居ナイカモ知レヌカラ、 能ク其處デ御相談ナスツテ御答辯願ヒ タイ、是ハ地方局長カラデモ宜シウゴ レデモウ一遍御相談ニナッテ御答願ヒ タ
○次田政府委員	耕地整理ト土地區劃 整理ノ待遇ノ、國家トシテノ扱ヒ方ガ 非常ニ輕重ノアルヤウナ御話デアリマ スガ、私共ハ大體ニ於テ同ジャウナ取 扱ヲシテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマ ス	○次田政府委員 耕地整理ト土地區劃 整理ノ待遇ノ、國家トシテノ扱ヒ方ガ 非常ニ輕重ノアルヤウナ御話デアリマ スガ、私共ハ大體ニ於テ同ジャウナ取 扱ヲシテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマ ス
○加藤委員	私ハ區劃整理ヤ都市計畫 ト云フコトハ、マサカ外務省ヤ海軍省 デハ御扱ニナラナイダラウト思ヒマス ガ、苟モ内務省ノ地方局長ガ、先刻來 岡田君ノ質問ニ對シテ、都市計畫ノコ トニ付テ頻ニ數字マデ舉ゲテ仰シヤル 地方局長ガ、ヨンナ大方針ノコトサヘ 知ラヌ以上ハ、是ハ實ニ驚クベキコト デアル、斯様ナ無能ナ内務省ノ政府委 員ガ集ツテ居ルコトハ、議會開カレテ以 來初メテノコトデアラウト思ヒマス、 サウスレバモウ少シ説明シテ御意見ヲ 伺ヒタイト思フ、現今耕地整理ト云フ ファウナ事ハ通リマセヌ、私ハ驚キマ シタ、地方局長ガ之ヲ知ラヌ、内務大 臣ハ選舉ノ神様デ、斯ウ云フ事ハ知ラ ヌカモ知レヌ、瘞ノ神様ハ風ノ神様ト シタ、地方局長ガ此地租法ニ付テ 違フト云フノト同ジャウナ譯デ、ソレ ハ宜イガ、地方局長ガ此地租法ニ付テ ノ大法典、之ニ都市計畫法ヲ出シテ、 フモノニ對シテ重キヲ置イテ居ル、國 家ハ非常ニ米ガ穫レル、穀物ガ穫レル ト云フト、食糧問題ヨリ致シマシテ—— タル御答辯	○加藤委員 私ハ區劃整理ヤ都市計畫 ト云フコトハ、マサカ外務省ヤ海軍省 デハ御扱ニナラナイダラウト思ヒマス ガ、苟モ内務省ノ地方局長ガ、先刻來 岡田君ノ質問ニ對シテ、都市計畫ノコ トニ付テ頻ニ數字マデ舉ゲテ仰シヤル 地方局長ガ、ヨンナ大方針ノコトサヘ 知ラヌ以上ハ、是ハ實ニ驚クベキコト デアル、斯様ナ無能ナ内務省ノ政府委 員ガ集ツテ居ルコトハ、議會開カレテ以 來初メテノコトデアラウト思ヒマス、 サウスレバモウ少シ説明シテ御意見ヲ 伺ヒタイト思フ、現今耕地整理ト云フ ファウナ事ハ通リマセヌ、私ハ驚キマ シタ、地方局長ガ之ヲ知ラヌ、内務大 臣ハ選舉ノ神様デ、斯ウ云フ事ハ知ラ ヌカモ知レヌ、瘞ノ神様ハ風ノ神様ト シタ、地方局長ガ此地租法ニ付テ 違フト云フノト同ジャウナ譯デ、ソレ ハ宜イガ、地方局長ガ此地租法ニ付テ ノ大法典、之ニ都市計畫法ヲ出シテ、 フモノニ對シテ重キヲ置イテ居ル、國 家ハ非常ニ米ガ穫レル、穀物ガ穫レル ト云フト、食糧問題ヨリ致シマシテ—— タル御答辯
○次田政府委員	甚ダ申譯ガアリマセ ヌガ、實ハ地方局デハ都市計畫ノコト ヲ取扱ツテ居リマセヌノデス、官房ノ 都市計畫課デ取扱ツテ居ルノデアリマ ス、其細カイコトニ付テハ承知シテ居 リマセヌ	○加藤委員 私ハ區劃整理ヤ都市計畫 ト云フコトハ、マサカ外務省ヤ海軍省 デハ御扱ニナラナイダラウト思ヒマス ガ、苟モ内務省ノ地方局長ガ、先刻來 岡田君ノ質問ニ對シテ、都市計畫ノコ トニ付テ頻ニ數字マデ舉ゲテ仰シヤル 地方局長ガ、ヨンナ大方針ノコトサヘ 知ラヌ以上ハ、是ハ實ニ驚クベキコト デアル、斯様ナ無能ナ内務省ノ政府委 員ガ集ツテ居ルコトハ、議會開カレテ以 來初メテノコトデアラウト思ヒマス、 サウスレバモウ少シ説明シテ御意見ヲ 伺ヒタイト思フ、現今耕地整理ト云フ ファウナ事ハ通リマセヌ、私ハ驚キマ シタ、地方局長ガ之ヲ知ラヌ、内務大 臣ハ選舉ノ神様デ、斯ウ云フ事ハ知ラ ヌカモ知レヌ、瘞ノ神様ハ風ノ神様ト シタ、地方局長ガ此地租法ニ付テ 違フト云フノト同ジャウナ譯デ、ソレ ハ宜イガ、地方局長ガ此地租法ニ付テ ノ大法典、之ニ都市計畫法ヲ出シテ、 フモノニ對シテ重キヲ置イテ居ル、國 家ハ非常ニ米ガ穫レル、穀物ガ穫レル ト云フト、食糧問題ヨリ致シマシテ—— タル御答辯

御尋スル、是ハ外務省ヤ海軍省ノモノデアリマセヌ、内務省ノ都市計畫、特別地稅ナドヲ出シタラ、アナタハ説明シナケレバナラヌデアラウ、マルキリ分ラヌ、驚入タ、本ヲ讀ンデ御答辯ヲ願ヒマス。

○次田政府委員 都市計畫特別稅ニ關スルコトハ、地方局ノ所管事項デアリマス、都市計畫其モノニ關スル事柄ハ、地方局ノ所管事項デハナイノデアリマス、御答致スニ付テ間違フト困リマスカラ……

○加藤委員 内務大臣ニ御尋致シマス

ガ、政府委員ノ誰ガ答辯シタラ宜ウゴザイマスカ

○安達國務大臣 御尋ノ意味ハ斯ウヂ

ヤアリマセヌカ、耕地整理ノ方ハ國家ノ保護ガ多イ、耕地整理ノ方ハ御承知ノ通リ是ハ農林省ノ關係デアツテ、私ノ話ガ間違タラ訂正致シマスガ、政府ノ方ノ沿革カラ考ヘマシテ、農林省ノ方デ考ヘタコト、土地區劃整理ノ方ハ内務省ノ管轄デアルカラ、其所ニ兩省

ノ間ニ御話ノヤウナ、果シテ權衡ガ取レテ居ラナイヤウナコトガアツタラ、ソレハ今後注意シ考究シテ、其公平ヲ得ルヤウニ努メルコトガ當然デハナカラ

ウカト考ヘマス、今御尋ノコトニ付テ私ノ頭ニ浮ンダ考ヲ申上グルト、其權衡ヲ失シテ居ルヤウデアリマス、或ハ

○加藤委員 議事進行ニ付テ發言ヲ求メテ、許可ヲ得マシタカラ發言致シマスガ、吾々ハ連日連夜議事ヲ進メル爲

皆駄目ダ、折角御及第ニナツタガ、又落第デアル、ソレデ此處へ御連レニナタ

政府委員ノ中ノ誰ニ答辯サセタラ宜イカ、ソレヲ御尋スル、ソレモ分リマセヌカ

○安達國務大臣 御尋ノ都市計畫ニ關スルコトハ、別ニ都市計畫課長ガ居リマスガ、今日此處ニ來テ居リマス者ハ、地方局ノ人バカリデアリマスカ

ラ、明日都市計畫ノ人ヲ連レテ來テ御答スルノガ當然ダト考ヘマス

○加藤委員 私ハ内務大臣ガ此法案ヲ持ッテ此處へ御出掛ニナルノハ、安達サシノ顔ヲ見セル爲ノ選舉ノ應援演説ナ

ド、ハ違ッテ、苟モ之ニ關スル政府委員ノ連レテ出テ來ナイトハ何デアリマセシテモ、親ニ孝行スルコトガ善イカ惡イカト

明ノ出來ナイヤウナ政府委員ヲ帶同シ

ニ列スル内務大臣デハナイカ、アナタハ責任ヲ負フ、ト言ウテ居ルガ、説

考ヘラレマスカ、而モ内務行政ノ首班

マス、議事ノ引延バシヲシテ進行ガ出

來ナイト云フノハ、ニ係ッテ政府當局

ノ責任ニアルト云フコトヲ、此場合闇

明ヲ致シマシテ、是ノ善後策ヲ講ズル

ハ是等ノコトハ今夕此處デ御尋致シマスカ、左様ナコトデドウシテ議事ノ

進行ヲ圖ラレル積リデアリマスカ、委員長以下各理事其他委員諸君ハ、日夜

議事ノ進行ニ付テ心配ヲ致シテ居ルノデ

ノハ、都市計畫ノ特別稅ニ關スルコト

耕地整理ノ方ガ重クシテ、區劃整理ノ保護ガ足ラナイト云フコトガアルカモ云フ御答辯ヲ得ルヤウナコトデ、實ニ知レマセヌガ、ソレハ能ク調査シテ御答スルコトニ致シマス

○加藤委員 内務大臣ガ此處ニ御出席ニ相成リマシタノハ、今回ノ此法案、御提出ノ地租外何件ニ付テハ、都市計畫ダケダト存ズルノデアリマス、ソコ

デ内務大臣ガ政府委員ヲ連レテ、此處へ御出掛けタノデアルガ、今ノ内務大臣ノ御答ハ駄目ダ、仰シャルコトハ

皆駄目ダ、折角御及第ニナツタガ、又落第デアル、ソレデ此處へ御連レニナタ

政府委員ノ中ノ誰ニ答辯サセタラ宜イカ、ソレヲ御尋スル、ソレモ分リマセヌカ

○高橋委員 議事進行ニ付テ發言ヲ求メテ、許可ヲ得マシタカラ發言致シマスガ、吾々ハ連日連夜議事ヲ進メル爲

ニ精進ヲ致シテ居ルノデアリマス、殊屬スル所ノ案件デアルノデアリマス、殊ニ此法、今日提案ノ半分ハ、内務省ニ

参考書類デモ殆ド他ノ所管ノ倍額モ戴イテ居ラテ、兎モ角一々目ヲ通シテ、質問ノ材料ヲ備ヘテ居ルノデアリマス、

誠意ガナイト吾々ハ認メナケレバナリマセヌ、議事ノ進行ヲ妨ゲル者ハ政府當局デアルト斷定シテモ差支ナイノデアリマス、曩ノ海軍大臣其他當局ノ

答辯ハ支離滅裂デアル、洵ニ吾々ノ疑惑ヲ得マシテカラ、私ノ質疑ハ繼續シ

タイト思ヒマス

○高橋委員 議事進行ニ付テ發言ヲ求メテ、許可ヲ得マシタカラ發言致シマスガ、吾々ハ連日連夜議事ヲ進メル爲

ニ精進ヲ致シテ居ルノデアリマス、殊

ニ此法、今日提案ノ半分ハ、内務省ニ

参考書類デモ殆ド他ノ所管ノ倍額モ戴

テ、遂ニ本日ハ議事ノ大遲滯ヲ致サセ

タガ、今又内務省所管ニ屬スル説明ノ

出来ナイガ爲ニ、茲ニ重大ナル議事ノ

滞滯ヲ來シテ居ルノデアリマス、滞滯

ドコロノ騒ギデハナイ、吾々ハ絶對ニ

議事ノ進行ガ出來ナイ、併ナガラ吾々

野黨ノ者ガ熱心ニ質問ヲ致シテ居ルノ

ニ對シテ、政府當局ガ之ニ答ヘルコト

ガ出來ズ、而シテ是ガ爲ニ議事ノ進行

ガ出來ヌト云フコトニナルナラバ、其

責任ハ政府當局ニアルト言ハナケレバ

ナラヌノデアリマス、屢々一部ノ人々

ニ依テ、議事ノ引延バシヲスルノハ野

黨デアルト云フヤウナコトヲ傳ヘラレ

ルコトヲ、吾々ハ遺憾トスルノデアリ

マス、議事ノ引延バシヲシテ進行ガ出

來ナイト云フノハ、ニ係ッテ政府當局

ノ責任ニアルト云フコトヲ、此場合闇

明ヲ致シマシテ、是ノ善後策ヲ講ズル

ハ是等ノコトハ今夕此處デ御尋致シマスカ、左様ナコトデドウシテ議事ノ

進行ヲ圖ラレル積リデアリマスカ、委員長以下各理事其他委員諸君ハ、日夜

議事ノ進行ニ付テ心配ヲ致シテ居ルノデ

ノハ、都市計畫ノ特別稅ニ關スルコト

デアリマスカラ、其方面ニ關係ノアル
政府委員バカリ見エテ居リマス、他ノ
都市計畫或ハ耕地整理等ノ關係方面ノ
コトニ付テノ政府委員ハ見エテ居ラヌ
ノデアリマスノデ、サウ云フ御尋ガア
リマスナラバ、明日ニ御願致シマス
○高橋委員 只今内務大臣カラ何カ御
意見ノ開陳ガアリマシタガ、此委員會
ガ稅制委員會デアル以上、稅ノ問題ガ
一番大切デハアリマセヌカ、都市計畫
ニ關スル特別稅ノ改廢ヲヤラウト云フ
コトガ、茲ニ重大ナル問題ニナッテ居ル
ノデアリマス、然ルニ之ニ説明ノ出來
ルヤウナ政府委員ヲ帶同ニナラナイデ、
アナタハ政府委員ノ答辯ニハ全責任ヲ
負フナドト云フコトヲ、大言壯語——

ト申シテハ、非常ナ卑劣ナ言葉ノヤウ
ニモ聽エマスガ、サウ云フコトデアナ
タハ議事ノ進行ガ圖レルト思ハレルノ
デアリマスカ、左様ナ次第デアリマス
カラ、少シ靜ニ御考ヘニナッテ、如何ナ
ル案ヲ議會ニ提出シタカノ如キ點ハ、
多少御研究ニナッテ宜カラウト思フ、自
分デドンナ事ヲ提案サレタカ分ラナイ
デ、漫然此處ニ御臨ミニナルコトハ、
國政ヲ何ト見テ居ルカト叫バザルヲ得
ナイノデアリマス、斯ノ如キコトデハ
議事ハ進行サレマセヌ、私ハ此場合時
間モ過ギテ居リマスカラ、散會セラレ
シコトノ動議ヲ提出致シマス

○大口委員 私モ實ハ散會ヲ委員長ニ
希望致シタイト思ヒマスガ、稅制ノ問
題ノ財源ニ關シマシテハ、海軍ノ計畫
ガ最モ大切デアリマシテ、私モ有益ナ
點ヲ突止メタイト實ハ考ヘテ居リマス、
之ニ付テ内田君ガ質問ニナッテ居ルノ
デアリマスガ、ソレハ海軍大臣ガ明日
デナイト御答ニナレナイ、ソレカラ又
附加稅ノ方ニナリマシテ、最モ吾々ガ
重視シテ居ル一ツハ、地租ノ改正ニ依ッ
テ附加稅ガ變り、附加稅率ニ變更ガア
ル、ソレト都市計畫ノ課率トノ關係ハ、
極メテ地方稅ノ上ニ於ケル大問題デア
リマスカラ、岡田君ヨリモ其點ヲ質問
致シテ、吾々モドウカ其要點ヲ握リタ
イト考ヘテ、常ニ靜肅ニ致シテ伺ッテ
居ツタノデアリマスガ、此點ニ關シマシテ
ハ、ヤハリ内務大臣ガ明日デナケレバ
御答ガ出來ナイト云フノデアリマス、
サウスレバ既ニ十時半モ過ギテ居ルノ
デアリマスカラ、今日何デモ之ヲヤラ
ナケレバナラヌト云フコトガ、吾々ニ
ハドウシテモ腑ニ落チヌ、本日ノ如キ
於テ十分御研究ノ結果、明日御答辯ヲ
願フコトニ致シマシテ、之ニ對シテノ
行スルコトガ當然ノ處置ト考ヘテ居リ
マス、ドウカ高橋君ヨリ只今御願ヲ致
シタヤウニ、委員長ニ於カレマシテ、

○本田委員長 本日ハ時間モ過ギマシ
タカラ、是デ散會ヲ致シマシテ、明日
午前十時ヨリ開會致シマス

午後十時四十一分散會

今夕ハ御取計ヲ願ヒマス

○本田委員長 本日ハ時間モ過ギマシ
タカラ、是デ散會ヲ致シマシテ、明日

昭和六年二月二十五日印刷

昭和六年二月二十六日發行

衆議院事務局

印刷者

常磐印刷株式會社